

## 令和 4 年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会事業報告

### 事業概況

曾於市においては、少子高齢化や著しい人口減少を背景に、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加、地域とのつながりの希薄化などにより地域の福祉課題はますます複雑化・複合化してきています。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会的孤立の深刻化や失業・減収等による生活困窮者の増加など、地域における様々な生活課題が顕在化し、多職種・多機関による連携なしには、これらの課題解決は難しくなっています。

このような中で、私たち曾於市社会福祉協議会は、「人と人とのつながりを大切に 地域と共に歩む」の理念のもと、つながりを絶やさないための活動や支援について各関係機関と創意工夫しながら取り組むとともに、地域福祉を推進する中核的な団体として、地域のご理解とご協力を得ながら「ともに生きる豊かな地域社会」の実現にむけて、継続した各地域福祉活動に取り組みました。

事業実績の主な概要として、総務課では、広報・啓発活動として、年 4 回発行する広報誌「手と手」について、モニターの方々の意見を取り入れながら、誰もが読みやすい広報誌づくり努めるとともに、ラインやインスタグラムなどの SNS を活用し、本会の活動状況を随時配信するなどして、周知・啓発に取り組みました。

地域福祉課地域係では、生活福祉資金貸付事業のほか各種相談に対応していく中で顕在化する複合的な課題等に対して、関係機関等と連携しながら、専門職としての伴走型支援に努めました。

ボランティア市民活動センター関係では、曾於市災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施し、本会役職員のみならず地域の活動者の参加者とともに、災害ボランティアセンターの役割と機能について共有することができました。令和 2 年 11 月から開講した手話奉仕員養成講座入門課程については、コロナの影響で途中延期を繰り返しながらも、令和 4 年 1 1 月に全日程を終了し、市民 22 名が入門課程を修了しました。

地域福祉課事業係では、介護保険等のサービス事業は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、ご利用者やご家族の協力のもと、全職員一丸となって感染拡大防止の徹底に取り組んだ結果、組織内のクラスター発生を未然に防ぎ、事業を継続することができました。

権利擁護センターでは、中核機関事業の一つとして、市民向け権利擁護講座を開催し、市民に対して権利擁護の理解促進に努めたとともに、曾於市とともに作成した曾於市版エンディングノートを活用し、市民や関係機関に対しての終活講座にも取り組みました。

曾於市地域包括支援センターでは、多世代からの様々な相談に応じていく中で、虐待など困難な課題に対しても、各機関等と連携・協働し、解決に向けて積極的に取り組んだほか、脳血管疾患の当事者の方々を対象とした集いの場として、「ひだまりカフェ」を立ち上げ、障がい者の方々の交流の場としての支援につなぐことができました。

令和5年4月に曾於市から受託した生活相談支援センター事業では、自立相談支援事業を中心に、複合的な課題を抱えている方々に対しての相談対応に取り組み、各関係機関との連携を図りながら、生活再建につながるよう継続的な支援に努めました。

経営状況として、介護サービス等の利用実績が昨年より改善したことから、サービス活動収益計は前年度よりも増額したものの、費用については、人件費のほか、水道光熱費や食料・日用品等の価格高騰の影響により、事業費、事務費ともに前年度より大幅に増額となったことから、サービス活動増減差額は前年度よりも大きく減額となりました。

法人全体の事業活動収支では、当期活動増減差額 約 3,697 千円を計上することができ、安定した組織経営に取り組むことができました。

## 重点事業の取り組み

### I 総務課関係

令和4年度は、年度中3回理事会、評議員会を開催し役員の選任や諸規程の改正、予算・決算等の審議が行われました。

第3次基盤強化計画は、6つの委員会に分かれ計画の実践について協議・検討を行い、実践委員会での協議を経て事業等に取り組み、組織基盤の強化につなげました。

行政との意見交換会も実施し、市への質問・要望19項目について課題の共有、協議を行いました。

社会福祉充実残額を活用した、社会福祉充実計画は「職員育成事業」として、各職員が全国社会福祉協議会等の研修を受講し資質向上を図りました。「職員処遇改善事業」では、新規採用職員の前歴換算(職歴加算)による給与等の増額支給を行い、「ふくし拠点づくり事業」は1つの校区社協が皆来館での研修を実施しています。

職員の意識改革やサービスの質の向上を目的に、職員研修マニュアルによる内部研修会も行い、職員一人ひとりが自分に求められるスキルについて確認し、組織をさらに発展させていくために、どのように取り組むべきか理解を図る場となりました。

また、役職員全体研修会は、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を開催し、センターの役割について学んだ上で、運営模擬訓練を実施しました。

第18回曾於市社会福祉大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、10月に曾於市長寿クラブ連合会と合同で表彰式のみ実施しました。

指定管理施設である財部保健福祉センター、大隅弥五郎伝説の里管理経営については、感染防止の対策を取りながら、安全・快適に施設を利用していただけるよう取り組み、前年度より利用者数・利用回数共に増加しました。

働きやすい職場環境づくりとして、年次有給休暇の取得促進や、全職員を対象としたストレスチェックも実施しています。

人事考課は全職員を対象に年度中2回実施し、勤務評定を行い上司との面接を通して、業務に関する振り返りや、今後の取り組みについて考える機会となりました。

その他、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動への協力として、職域募金や街頭募金活動の実施や、本会の目的達成のために必要な事業として「曾於市共同募金委員会事務局」「日本赤十字社鹿児島県支部曾於市地区事務局」「曾於市民生委員児童委員協議会連合会及び各地区民生委員児童委員協議会事務局」業務にも取り組みました。

## 総務課関係事業実績

### 1 会務の運営

#### (1) 理事会

開催回	年月日	出席者数	主な議題
第1回	令和4年6月7日	理事9名 (欠員1名) 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人曾於市社会福祉協議会役員候補者の推薦について</li> <li>・社会福祉法人曾於市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について</li> <li>・令和3年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会事業報告について</li> <li>・令和3年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会決算について</li> <li>・令和4年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会収支補正予算(第1回)について</li> <li>・令和4年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会第1回評議員選任・解任委員会について</li> <li>・令和4年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会第1回評議員会について</li> </ul>
第2回	令和4年11月21日	理事10名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人曾於市社会福祉協議会職員就業規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>・社会福祉法人曾於市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>・曾於市社会福祉協議会通所介護大隅事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>・小規模多機能ホームより愛さかもと運営規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>・曾於市社会福祉協議会基準型通所サービス運営規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>・曾於市社会福祉協議会基準緩和型通所サービス運営規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>・令和4年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会収支補正予算(第2回)について</li> <li>・令和4年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会第2回評議員会について</li> </ul>
第3回	令和5年3月13日	理事6名 (欠員2名) 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人曾於市社会福祉協議会次期役員候補者の推薦について</li> <li>・役員賠償責任保険の契約更新について</li> <li>・令和4年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会収</li> </ul>

開催回	年月日	出席者数	主な議題
			支補正予算(第3回)について ・令和5年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会事業計画について ・令和5年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会収支予算について ・令和4年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会第3回評議員会について

(2) 評議員選任・解任委員会

開催回	年月日	出席者数	主な議題
第1回	令和4年6月17日	<b>監事1名</b> <b>事務局員1名</b> <b>外部委員2名</b>	・社会福祉法人曾於市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員長の選任について ・社会福祉法人曾於市社会福祉協議会評議員の選任について

(3) 評議員会

開催回	年月日	出席者数	主な議題
第1回	令和4年6月23日	<b>評議員12名</b> <b>監事2名</b>	・社会福祉法人曾於市社会福祉協議会役員の選任について ・令和3年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会事業報告について ・令和3年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会決算について ・令和4年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会収支補正予算(第1回)について
第2回	令和4年11月29日	<b>評議員12名</b> <b>監事2名</b>	・令和4年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会収支補正予算(第2回)について
第3回	令和5年3月24日	<b>評議員9名</b> <b>(欠員1名)</b> <b>監事2名</b>	・社会福祉法人曾於市社会福祉協議会役員の選任について ・令和4年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会収支補正予算(第3回)について ・令和5年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会事業計画について ・令和5年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会収支予算について

## (4) 監査

## (内部監査)

開催回	年月日	実施場所	実施者(内部監査担当職員)
第1回	令和4年4月20日、28日	末吉支所・大隅支所	福満直樹(総務課主任)
	令和4年4月22日	本所	牧野美鈴(地域福祉課長兼大隅支所長) 若松 旭(地域福祉課地域係主任)
第2回	令和4年10月11日、19日	末吉支所・大隅支所	福満直樹(総務課主任)
	令和4年10月21日	本所	牧野美鈴(地域福祉課長兼大隅支所長) 若松 旭(地域福祉課地域係主任)

## (監事監査)

開催回	年月日	実施場所	実施者(監事)
第1回	令和4年5月12日	末吉支所・大隅支所	井上建夫、富岡親志
	令和4年5月13日	本所	
第2回	令和4年11月8日	末吉支所・大隅支所	井上建夫、富岡親志
	令和4年11月9日	本所	

## (5) 第3次基盤強化計画に基づく取り組み

## ア 5委員会の開催(経営分析・スキルアップ・リスクマネジメント・広報・地域課題発掘)

会議名	開催年月日	出席者数
経営分析委員会.	令和4年5月27日	職員7名
	令和4年9月12日	職員8名
	令和4年11月10日	職員6名
	令和5年2月10日	職員7名
スキルアップ委員会	令和4年5月25日	職員7名
	令和4年7月14日	職員7名
	令和4年10月26日	職員8名
	令和5年2月7日	職員6名
リスクマネジメント委員会	令和4年4月15日	職員6名
	令和4年7月8日	職員7名
	令和4年10月18日	職員8名
	令和5年2月10日	職員8名
広報委員会	令和4年5月16日	職員7名
	令和4年8月5日	職員6名
広報委員会	令和4年10月18日	職員8名

会議名	開催年月日	出席者数
	令和5年2月13日	職員7名
地域課題発掘委員会	令和4年4月19日	職員7名
	令和4年9月1日	職員6名
	令和4年10月25日	職員9名
	令和5年3月2日	職員6名

#### イ 実践委員会の開催

開催回(通算回数)	開催年月日	出席者数
第11回	令和4年6月14日	職員10名
第12回	令和4年9月29日	職員9名
第13回	令和4年12月8日	職員10名
第14回	令和5年3月14日	職員9名

#### ウ 行政との定期的な意見交換会の開催

令和5年2月2日(木) 市役所本庁 多目的室で開催

本会からの質問(9項目)、要望事項(10項目)

要望事項を市へ伝え、課題の共有を図りました。今後改善・解決に向けて継続して関係部署と協議を行ってまいります。

#### (6) 社会福祉充実計画の実施

事業名	事業種別	事業概要	取り組み内容
職員育成事業	社会福祉事業	当法人の職員の資質向上を図るため、全国団体が実施する研修の受講費用を補助する。	全社協主催の各種オンライン研修等に参加し受講費用を補助。
職員処遇改善事業	社会福祉事業	新規採用職員の前歴換算(職歴加算)を行い、給与等の増額支給をすることとし、処遇改善を図る。	4月1日付け採用職員4名、5月1日付け採用職員1名、7月1日付け採用職員1名の前歴換算を行い、処遇改善を図った。
権利擁護センター運営事業	社会福祉事業	認知症や精神障がい、知的障がい等で判断能力が不十分な方が、安心して地域で生活を送れるよう、権利擁護センターを設置し、福祉サービス利用支援事業及び成年後見事業を行う。	福祉サービス利用支援事業、法人後見事業を実施中。 (※権利擁護センター関係事業実績参照)
小規模多機能型居宅介護事業所建物整備事業	社会福祉事業	小規模多機能型居宅介護事業を実施する建物建設のため、場所等の事前調査・検討を行う。	未実施

事業名	事業種別	事業概要	取り組み内容
福祉バス運行事業	地域公益事業	福祉団体の活動・研修、ボランティア団体のボランティア活動の支援、買い物支援事業で福祉バスを運行する。	運行実績なし。
ふくし拠点づくり事業	地域公益事業	小地域ごと(26 校区社協ごと)の福祉相談窓口で有償ボランティアが相談対応にあたる。また、必要に応じ、その場所でサロンや介護予防教室を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回校区社会福祉協議会会長会にて福祉の拠点づくり事業を推進</li> <li>・ 1 校区社協が皆来館の見学を実施。</li> </ul>

(7) 役職員研修会の実施…実施なし。

(8) 管理職(事務局長・課長・支所長)会議…毎月開催

(9) 主任会議及び担当者会の開催(随時) …随時開催

(10) 職員会議…本・支所別に毎月1回開催

## 2 財政基盤の強化

(1) 会費等の状況

会費	一般会員		賛助会員		特別会員		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和4年度	9,634	2,408,500	161	241,000	4	42,000	9,799	2,691,500
令和3年度	9,964	2,491,000	124	258,000	5	53,000	10,093	2,802,000
前年度末との差異	-330	-82,500	37	-17,000	-1	-11,000	-294	-110,500

(2) 寄付の状況

寄付	一般寄付		香典返し寄付		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和4年度	26	1,175,463	144	2,856,000	170	4,031,463
令和3年度	27	2,668,415	124	1,799,000	151	4,467,415
前年度との差異	-1	-1,492,952	20	1,057,000	19	-435,952

(3) 経営会議

令和4年12月13日(火) 財部保健福祉センターで開催

管理職及び主任で事業分析シートによる現状、課題の把握と今後の見通しについて協議。

(4) 民間助成金等の活用…実績なし

### 3 職員研修・意識改革の推進

(1) 本・支所別職員研修会(事業計画説明・交通安全・救急法)

年月日(開催場所)	開催場所	主な内容
令和4年4月15日	本所	令和4年度曾於市社会福祉協議会事業計画説明
令和4年4月19日	末吉支所	
令和4年4月21日	大隅支所	
令和4年11月15日	末吉支所	交通安全について(法令講習)
令和4年11月17日	本所	
令和4年11月24日	大隅支所	

※救急法については未実施

(2) スキルアップ研修会

令和5年3月10日(金) そお生きいき健康センターで開催 職員46名参加  
研修内容「支え合いマップづくりについて」

(3) 役職員全体研修会(本・支所合同研修)

令和5年2月19日(日) 大隅総合運動公園 体育館で開催  
「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」  
本会役員・職員、地域ボランティア 78名が参加

(4) 事業所別ミーティング・研修会…事業所別に毎月開催

(5) 各種団体実施研修会への参加…県社協等各種団体主催の研修(参集・オンライン)へ関係職員参加

(6) 新人育成研修会

年月日	研修受講職員数	主な内容
令和4年4月1日	8名	曾於市社協理念等について、各課・事業所の事業内容、就業規則について、接遇
令和4年5月2日	1名	曾於市社協理念等について、各課・事業所の事業内容、就業規則について、接遇

- (7) 課長・地域包括支援センター長・支所長・主任・一般職・再雇用職・臨時職の職位別研修会  
・主任対象

年月日	研修受講職員数	主な内容
令和4年6月28日	11名	・職員意識調査について ・職員の業務に対する意欲(モチベーション)向上について

- (8) 課長・地域包括支援センター長・支所長・主任就任時研修会  
対象者なし

- (9) 自己資質向上研修への支援…実績なし

- (10) 資格取得の促進・支援…各種国家試験等の情報提供(社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員)  
社会福祉士国家試験5名合格

#### 4 表彰・顕彰

- (1) 曾於市社会福祉大会における表彰状等の授与

第18回曾於市社会福祉大会(令和4年8月28日)が開催中止となったため、10月16日(日)に長寿クラブ連合会と合同表彰式を実施

区分	被表彰者数
表彰の部	民生委員・児童委員3名 社会福祉施設の長及び職員並びに相談員等7名 社会福祉団体等の役職員8名 在宅福祉アドバイザー9名 地域篤行者1名

- (2) 県社会福祉協議会会長及び九州社会福祉協議会連合会会長表彰手続き

区分	被表彰者数
県社会福祉協議会会長表彰	民生委員・児童委員1名 曾於市社会福祉協議会職員2名
九州社会福祉協議会連合会会長表彰	曾於市社会福祉協議会職員1名

## 5 曾於市公共の施設の指定管理経営

### (1) 財部保健福祉センター

利用人数 (人)	会議室	トレーニング室	相談室	診察室	保健指導室	機能回復訓練室	栄養改善室	合計
令和4年度	2,646	681	238	0	1,427	2,944	466	8,402
令和3年度	1,228	484	258	0	1,485	4,496	195	8,146
前年度対比	1,418	197	-20	0	-58	-1,552	271	256

利用回数 (回)	会議室	トレーニング室	相談室	診察室	保健指導室	機能回復訓練室	栄養改善室	合計
令和4年度	156	211	108	0	15	141	32	663
令和3年度	162	154	129	0	32	122	17	616
前年度対比	-6	57	-21	0	-17	19	15	47

### (2) 大隅弥五郎伝説の里

利用人数 (人)	電動カー	会議室	調理実習室	多目的広場等	入浴施設	合計
令和4年度	4,390	6,894	86	19,759	34,626	65,755
令和3年度	4,254	3,935	229	18,282	31,399	58,099
前年度対比	136	2,959	-143	1,477	3,227	7,656

利用回数 (回)	電動カー	会議室	調理実習室	多目的広場等	入浴施設	合計
令和4年度	—	71	6	891	—	968
令和3年度	—	104	16	822	—	942
前年度対比	—	-33	-10	69	—	26

### (3) 大隅デイサービスセンター…地域福祉課事業係 通所介護大隅事業所実績参照

## 6 本会経理事務の実施

### (1) 社会福祉充実残額の算定（令和4年6月24日算定）

令和3年度末 社会福祉充実残額	620,270,000 円
-----------------	---------------

## 7 啓発活動及び情報公開

(1) ガイドブックの改訂・整備…令和4年4月1日改定

(2) 情報紙「手と手」発行

種別	年月日	発行部数
「手と手」第83号	令和4年5月13日	<b>12,000部</b>
「手と手」第84号	令和4年8月15日	<b>12,000部</b>
「手と手」第85号	令和4年11月15日	<b>12,000部</b>
「手と手」第86号	令和5年2月15日	<b>12,000部</b>

(3) ホームページ、SNSによる情報発信等

種別	備考
ホームページ	市社協の事業やイベント情報などを市民に提供
公式LINE	5月27日から運用開始(17回配信)
Instagram	10月31日から運用開始(24回配信)

(4) 曾於市社会福祉協議会イメージキャラクターの作成

令和4年12月1日(木)～令和5年1月31日(火)の期間に曾於市民、曾於市内で在勤・在学の方を対象に作品を募集し176点が集まりました。(募集要項に社協事業のチラシを添付)

第1次選考委員会を3月7日に開催し7作品を選考。市民投票(4月30日まで)を実施した上で最終選考委員会を5月23日(火)に開催し決定予定。

(5) やさしいスマホ講座開催

令和5年3月17日(金) 財部保健福祉センターで開催

参加者7名、講師2名(専門学校生)

スマートフォンを使って防災や福祉の情報収集等ができるようになるための講座を開催。併せて、曾於市社協の事業説明も行い本会への理解も深めていただきました。

## 8 職場環境の整備

(1) 衛生委員会の開催

取組内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・職場巡視点検並びに業務の効率化の検討等</li><li>・週1回のノー残業デーの設定及び年休取得促進等</li><li>・リフレッシュ休暇(3日連続の年休取得)の周知等による年休取得促進等</li><li>・育児介護休業制度に基づく諸制度の周知</li><li>・メンタルヘルス等相談窓口の周知</li></ul>
------	--

(2) メンタルヘルス等相談窓口の設置…相談実績 0 件

(3) ストレスチェックの実施

実施年月日	受検者数
令和 4 年 7 月 5 日～8 日	<b>102 名</b>

## 9 組織運営及び事業の提案・改善

(1) キャリアパス制度の運用…キャリアパス基準に基づいた人事運用の実施

(2) 勤務評定の実施

開催回	実施年月日	実施対象職員
第 1 回	令和 4 年 5 月 16 日～6 月 24 日	全職員
第 2 回	令和 4 年 10 月 19 日～11 月 30 日	全職員

(3) 職員自己申告調査の実施

令和 4 年 12 月 1 日～12 日の期間に全職員を対象に実施。

(4) 安定的な新規事業の運営、実施体制整備

(5) Google フォームを活用した職員の意見・提案の把握…実績なし

## 10 研修及び実習受け入れ

(1) 実習生受入…社会福祉相談援助実習 **1 名**

## 11 共同募金運動への協力

(1) 募金活動の啓発

(2) 曾於市共同募金委員会との連携

- ・ 情報紙「手と手」第 85 号(11 月 15 日発行)に募金運動啓発の記事を掲載
- ・ SOO Good FM に職員、共同募金助成団体 ミニデイあさひ会代表の大村幸子 氏が出演 (10 月 6 日)

(3) 共同募金・歳末たすけあい運動への協力…街頭募金、職域募金等による協力  
街頭募金活動… (一般募金) 10 月 1 日(金)、3 日(日)、7 日(木)、12 日(火)実施  
(歳末たすけあい募金) 12 月 5 日(日)実施

## 12 その他本会の目的達成のために必要な事業

- (1) 曾於市共同募金委員会事務局業務を年度計画に基づき実施
- (2) 日本赤十字社鹿児島県支部曾於市地区事務局業務を年度計画に基づき実施
- (3) 曾於市民生委員児童委員協議会連合会及び各地区民生委員児童委員協議会事務局業務を年度計画に基づき実施

## II 地域福祉課 地域係関係

地域係では、住民の生活圏域ごと（末吉、財部、大隅）に配置した地域福祉コーディネーターが、校区社会福祉協議会をはじめ、関係機関・団体等と協働しながら、地域生活課題の解決と支え合いの地域づくりに向けて取り組みました。

生活に関わるあらゆる相談を総合的に受け止め、関係機関等への適切なつなぎと連携した支援を行うことと併せて、校区社会福祉協議会を基盤に地域住民を主体とした地域課題の把握と共有、課題解決に向けた支え合いの地域づくりに取り組むことで、地域の福祉力の向上を図りました。

校区社会福祉協議会を主体とした地域福祉推進事業においては、ささえあいネットワーク事業を共通の活動の柱に 26 校区社会福祉協議会が支え合いマップづくりや座談会の開催などを行いながら、地域の実情に応じた地域福祉推進活動を実践しました。

住民が抱える地域生活課題が多様化し、分野や世代を越えて複雑に絡み合い、単一機関・団体の支援では解決が困難である状況がある中で、複合的な支援につなげられるよう、社会福祉協議会としてプラットフォーム機能を発揮し、子育て支援や障がい者支援など関係機関・団体のネットワークづくりにも取り組みました。表面化している課題だけでなく、世帯や生活環境に目を向けて課題を受け止め、ネットワーク機能を活かした多面的な支援につなげられるよう、今後も複合的な支援の必要性の共有を図りながらネットワークの強化に取り組んでいきます。

また、ほっとサービスや災害ボランティアセンターに関わるボランティアや地域参加の場所となっているサロン、体操教室の連絡会や研修会も開催し、地域福祉の担い手としてのスキルの向上や介護予防、地域での孤立の防止の推進を図ることができました。

社会福祉協議会協議会の地域福祉の推進において、共同募金を財源として活用させていただきました共同募金助成事業では、ささえあいネットワーク事業をはじめとする支え合いの仕組みづくりやボランティア協力と連携した福祉教育、居場所づくりなどの事業を実施し、共通の目的である「地域福祉の推進」を図ることができたと感じています。

福祉資金貸付事業では、コロナ禍における特例貸付事業が 9 月末日をもって終了しましたが、期間中は曾於市においても多くの申請を受け付けました。しかしながら、償還を前に行われた償還免除、償還猶予の申請が多くあったことは、資金の貸付だけでなく、生活の安定に向けた継続的な相談支援が必要であると感じています。

今後も生活の安定にはその手段の一つとして資金の貸付が必要であることがあるということに基づいた貸付を行うと共にその目的が達成されるよう相談支援を併せて行ってまいります。

地域住民が抱える地域生活課題は今後も多様かつ複合的になり、社会情勢の変化に応じて新たな課題も生じてきます。このことを視点におきながら、地域住民をはじめ、関係機

関・団体と連携した地域づくりに取り組み、課題解決に向けては、当事者、家族の思いに寄り添いながら、地域による支援を含めあらゆる資源が繋がった支援をしていくことを大切にしていきます。

## 地域福祉課 地域係関係事業実績

### 1 地域福祉活動推進事業

#### (1) 地域福祉ネットワークづくり事業

・福祉施設・団体・グループ等各種連絡会の開催

会議名	年月日	参加者数	主な内容
子ども・子育て支援連絡会	令和4年6月17日	<b>27名</b>	講演 グループワーク
大隅地区社会福祉協議会連絡協議会第1回研修会参加	令和4年7月13日	<b>職員3名</b>	講話 災害ボランティア設置・運営訓練
障がい者支援連絡会	令和4年10月24日	<b>11名</b>	講演 グループワーク
ふれあい・いきいきサロン・ミニデイ連絡会	令和4年10月31日	<b>38名</b>	講演 グループワーク
ほっとサービス協力会員連絡会	令和4年11月25日	<b>22名</b>	講演
体操教室連絡会	令和4年12月9日	<b>37名</b>	体力測定結果報告 活動発表 グループワーク
大隅地区社会福祉協議会連絡協議会第2回研修会参加	令和5年2月10日	<b>職員2名</b>	講演
そお暮らしの保健室事業測定ボランティア連絡会	令和5年3月10日	<b>34名</b>	事業実施報告 ふりかえり・意見交換
心配ごと相談員連絡会	令和5年3月23日	<b>9名</b>	事業のふりかえり 曾於市社会福祉協議会 事業への協力について

#### (2) 校区社会福祉協議会活動事業

- ・26校区社会福祉協議会地域福祉活動に対する支援
- ・26校区社会福祉協議会地域福祉活動に対する助成

対象社協数	実績
<b>26</b>	<b>1,490,300 円</b>

・ 26 校区社会福祉協議会連絡会等の開催

会議名	年月日	参加者数	主な内容
3 校区社協会長対談	令和 4 年 4 月 5 日	<b>3 名</b>	校区社会福祉協議会活動について
第 1 回校区社会福祉協議会連絡会	令和 4 年 4 月 20 日	<b>41 名</b>	活動発表 事業の説明、 事務連絡
校区・地区公民館長等及び校区社協会長合同連絡会	令和 4 年 11 月 4 日 令和 4 年 11 月 7 日	<b>52 名</b>	講話・演習
第 2 回校区社会福祉協議会連絡会	令和 5 年 2 月 6 日	<b>34 名</b>	講話 グループワーク

【財部地区】

財部校区下財部社協役員会	令和 4 年 4 月 12 日	<b>10 名</b>	事業実施に向けた協議
財部北校区社協役員会	令和 4 年 4 月 12 日	<b>5 名</b>	事業実施に向けた協議
財部北校区社協ネットワーク会議	令和 4 年 4 月 21 日	<b>20 名</b>	事業説明、見守り対象者の抽出
財部南校区社協打合せ	令和 4 年 4 月 25 日	<b>3 名</b>	事業実施に向けた協議
財部校区南俣社協役員会	令和 4 年 4 月 25 日	<b>6 名</b>	事業実施に向けた協議
中谷校区社協ネットワーク会議	令和 4 年 5 月 13 日	<b>17 名</b>	事業説明、見守り対象者の抽出
財部南校区社協ネットワーク会議	令和 4 年 5 月 24 日	<b>23 名</b>	事業説明、見守り対象者の抽出
財部校区下財部ネットワーク会議	令和 4 年 5 月 26 日	<b>25 名</b>	事業説明、見守り対象者の抽出
財部校区南俣社協ネットワーク会議	令和 4 年 5 月 27 日	<b>28 名</b>	事業説明、見守り対象者の抽出
財部校区北俣社協役員会	令和 4 年 5 月 30 日	<b>10 名</b>	事業実施に向けた協議
財部校区北俣社協ネットワーク会議	令和 4 年 5 月 30 日	<b>36 名</b>	事業説明、見守り対象者の抽出
財部南校区社協打合せ	令和 4 年 7 月 1 日	<b>4 名</b>	支え合いマップ打合せ
財部校区北俣社協研修会	令和 4 年 7 月 8 日	<b>6 名</b>	皆来館見学
財部南校区支え合いマップ	令和 4 年 7 月 14 日	<b>18 名</b>	マップを活用した協議
財部校区北俣社協ひまわり植え	令和 4 年 7 月 19 日	<b>31 名</b>	財部中学校と連携したひまわり植え
財部校区南俣社協支え合いマップ	令和 4 年 7 月 25 日	<b>5 名</b>	マップを活用した協議

会議名	年月日	参加者数	主な内容
(大重民生委員)			
財部校区北俣社協支え合いマップ (西山民生委員 1 回目)	令和 4 年 8 月 29 日	7 名	マップを活用した協議
財部校区北俣社協支え合いマップ (西山民生委員 2 回目)	令和 4 年 9 月 14 日	6 名	マップを活用した協議
財部校区北俣社協支え合いマップ (瀬戸口民生委員 1 回目)	令和 4 年 9 月 15 日	6 名	マップを活用した協議
財部校区南俣社協役員会	令和 4 年 9 月 30 日	6 名	事業実施に向けた協議
財部校区北俣社協支え合いマップ (瀬戸口民生委員 2 回目)	令和 4 年 9 月 30 日	6 名	マップを活用した協議
財部校区南俣・北俣・下財部社協 絵手紙仕分け作業	令和 4 年 9 月 16 日	15 名	絵手紙の仕分け作業
財部校区北俣社協 研修会	令和 4 年 11 月 9 日	11 名	皆来館について
財部北校区社協心と体の健康教室	令和 4 年 11 月 12 日	30 名	地域交流会
財部校区北俣社協社協歳末行事	令和 4 年 11 月 18 日	9 名	歳末行事すし具づくり
財部北校区社協心と体の健康教室	令和 4 年 11 月 28 日	30 名	地域交流会
財部北校区社協心と体の健康教室	令和 4 年 12 月 10 日	30 名	地域交流会
財部校区下財部社協支え合いマップ (吉國民生委員)	令和 4 年 12 月 17 日	6 名	マップを活用した協議
財部校区北俣社協歳末見守り宅配事業	令和 4 年 12 月 18 日	22 名	要援護者の安否確認と 年末年始の動向確認
財部校区南俣社協 役員会	令和 5 年 1 月 31 日	7 名	情報紙、役員改選について
財部校区下財部 役員会	令和 5 年 2 月 3 日	6 名	情報紙について
財部校区北俣社協 歳末行事反省会	令和 5 年 2 月 8 日	14 名	行事反省会
財部校区北俣社協 支え合いマップ (瀬戸口民生委員)	令和 5 年 2 月 17 日	3 名	マップから見える課題 等のまとめ
財部校区下財部社協 ネットワーク 会議	令和 5 年 2 月 24 日	25 名	見守り活動振り返り、 意見交換
財部校区北俣社協 役員会	令和 5 年 2 月 27 日	13 名	情報紙、次年度の計画 等についての協議
中谷校区社協ネットワーク会議	令和 5 年 3 月 4 日	13 名	見守り活動振り返り、

会議名	年月日	参加者数	主な内容
			意見交換
財部北校区社協ネットワーク会議	令和5年3月7日	20名	見守り活動振り返り、意見交換
財部校区北俣社協ネットワーク会議	令和5年3月9日	30名	見守り活動振り返り、意見交換
財部南校区社協ネットワーク会議	令和5年3月16日	18名	見守り活動振り返り、意見交換
財部校区南俣社協ネットワーク会議	令和5年3月17日	35名	見守り活動振り返り、意見交換

【未吉地区】

高岡校区社協役員会	令和4年4月5日	6名	事業実施に向けた協議
中部校区社協役員会	令和4年4月11日	10名	校区社協について協議
中部校区社協役員会	令和4年4月14日	9名	中部地区公民館との協議
岩南校区社協ネットワーク会議	令和4年4月14日	17名	事業説明、見守り対象者抽出
高岡校区社協ネットワーク会議	令和4年4月17日	17名	事業説明、見守り対象者抽出
中部校区社協役員会	令和4年4月20日	5名	規約改定の協議
中部校区社協役員会	令和4年4月21日	12名	校区社協について協議
南部校区社協ネットワーク会議	令和4年4月23日	30名	事業説明、見守り対象者抽出
光神校区社協ネットワーク会議	令和4年4月24日	20名	事業説明、見守り対象者抽出
岩北校区社協ネットワーク会議	令和4年4月27日	22名	事業説明、見守り対象者抽出
中部校区社協三役会	令和4年4月27日	5名	事業実施に向けた協議
柳迫校区社協ネットワーク会議	令和4年4月28日	28名	事業説明、見守り対象者抽出
諏訪校区社協ネットワーク会議	令和4年4月30日	25名	事業説明、見守り対象者抽出
深川校区社協ネットワーク会議	令和4年5月8日	34名	事業説明、見守り対象者抽出
中部校区社協役員会	令和4年5月10日	13名	事業実施に向けた協議
東部校区社協ネットワーク会議	令和4年5月15日	17名	事業説明、見守り対象者抽出

会議名	年月日	参加者数	主な内容
西部校区社協ネットワーク会議	令和4年5月17日	24名	事業説明、見守り対象者抽出
中部校区社協ネットワーク会議	令和4年5月20日	43名	事業説明、見守り対象者抽出
檜校区社協ネットワーク会議	令和4年5月24日	32名	事業説明、見守り対象者抽出
北部校区社協ネットワーク会議	令和4年5月30日	20名	事業説明、見守り対象者抽出
高岡校区社協役員会	令和4年6月7日	8名	事業実施に向けた協議
檜校区社協役員会	令和4年6月20日	8名	事業実施に向けた協議
高岡校区社協役員会	令和4年8月2日	8名	事業実施に向けた協議
中部校区社協役員会	令和4年8月10日	12名	事業実施に向けた協議
柳迫校区社協支え合いマップ (中崎)	令和4年8月29日	5名	マップを活用した協議
中部校区社協三役会	令和4年8月30日	5名	事業実施に向けた協議
柳迫校区社協支え合いマップ (元柳井谷)	令和4年9月16日	4名	マップを活用した協議
柳迫校区社協支え合いマップ (後柳井谷)	令和4年9月21日	4名	マップを活用した協議
柳迫校区社協支え合いマップ (下柳井谷)	令和4年9月21日	4名	マップを活用した協議
柳迫校区社協支え合いマップ (西柳井谷)	令和4年9月27日	5名	マップを活用した協議
柳迫校区社協支え合いマップ (上柳井谷)	令和4年9月30日	3名	マップを活用した協議
柳迫校区社協支え合いマップ (柳迫)	令和4年10月1日	6名	マップを活用した協議
柳迫校区社協支え合いマップ (藁原)	令和4年10月4日	6名	マップを活用した協議
柳迫校区社協支え合いマップ (中柳井谷)	令和4年10月17日	4名	マップを活用した協議
高岡校区社協役員会	令和4年10月31日	7名	テーマ別事業について
高岡校区社協支え合いマップ (高岡上)	令和4年11月1日	4名	マップを活用した協議

会議名	年月日	参加者数	主な内容
高岡校区社協役員会	令和4年12月5日	7名	テーマ別事業について
柳迫校区社協支え合いマップ (南柳井谷)	令和4年12月8日	4名	マップを活用した協議
中部校区社協ネットワーク会議	令和5年2月17日	38名	見守り活動振り返り、意見交換
南部校区社協ネットワーク会議	令和5年2月25日	20名	見守り活動振り返り、意見交換
柳迫校区社協ネットワーク会議	令和5年2月25日	21名	見守り活動振り返り、意見交換
北部校区社協ネットワーク会議	令和5年2月27日	21名	見守り活動振り返り、意見交換
檜校区社協ネットワーク会議	令和5年3月3日	38名	見守り活動振り返り、意見交換
諏訪校区社協ネットワーク会議	令和5年3月4日	18名	見守り活動振り返り、意見交換
深川校区社協ネットワーク会議	令和5年3月6日	22名	見守り活動振り返り、意見交換
光神校区社協ネットワーク会議	令和5年3月6日	19名	見守り活動振り返り、意見交換
高岡校区社協ネットワーク会議	令和5年3月7日	19名	見守り活動振り返り、意見交換
岩北校区社協ネットワーク会議	令和5年3月8日	21名	見守り活動振り返り、意見交換
岩南校区社協ネットワーク会議	令和5年3月9日	13名	見守り活動振り返り、意見交換
東部校区社協ネットワーク会議	令和5年3月12日	15名	見守り活動振り返り、意見交換
西部校区社協ネットワーク会議	令和5年3月16日	23名	見守り活動振り返り、意見交換
檜校区社協役員会	令和5年3月20日	7名	事業実績及び事業計画について

【大隅地区】

岩川校区社協役員会	令和4年4月25日	6名	校区社協の在り方協議
大隅南校区社協ネットワーク会議	令和4年4月26日	16名	事業説明、見守り対象者抽出
菅牟田校区社協ネットワーク会議	令和4年4月27日	12名	事業説明、見守り対象

会議名	年月日	参加者数	主な内容
			者抽出
恒吉校区社協ネットワーク会議	令和4年5月8日	30名	事業説明、見守り対象者抽出
月野校区社協ネットワーク会議	令和4年5月11日	38名	事業説明、見守り対象者抽出
笠木校区社協役員会	令和4年5月12日	13名	活動計画、体操教室について
大隅北校区社協ネットワーク会議	令和4年5月25日	25名	事業説明、見守り対象者抽出
笠木校区社協ネットワーク会議	令和4年5月26日	19名	事業説明、見守り対象者抽出
岩川校区社協ネットワーク会議	令和4年6月4日	20名	事業説明、見守り対象者抽出
月野校区社協座談会 (東江民生委員)	令和4年6月13日	13名	意見交換
月野校区社協座談会 (寺師民生委員)	令和4年6月15日	9名	意見交換
月野校区社協座談会 (下岡民生委員)	令和4年6月20日	9名	意見交換
月野校区社協座談会 (福岡民生委員)	令和4年6月22日	11名	意見交換
月野校区社協座談会 (豎山民生委員)	令和4年6月27日	9名	意見交換
月野校区社協座談会 (岩元民生委員)	令和4年6月29日	11名	意見交換
岩川校区社協座談会 (榊原民生委員)	令和4年7月3日	6名	見守り活動振り返り、意見交換
恒吉校区社協第2回運営委員会	令和4年8月2日	8名	今後の事業確認
岩川校区社協座談会 (川崎民生委員)	令和4年8月26日	6名	見守り活動振り返り、意見交換
岩川校区社協座談会 (長崎民生委員)	令和4年9月3日	14名	見守り活動振り返り、意見交換
大隅北校区社協地区別意見交換会 (坂元)	令和4年9月21日	7名	マップの見直し、現況報告
大隅北校区社協地区別意見交換会 (榎木段)	令和4年9月22日	9名	マップの見直し、現況報告

会議名	年月日	参加者数	主な内容
大隅北校区社協地区別意見交換会 (折田)	令和4年9月26日	8名	マップの見直し、現況報告
菅牟田校区社協合同会	令和4年9月29日	13名	アドバイザー意見交換、研修
岩川校区社協座談会 (杉永委員)	令和4年10月1日	9名	見守り活動振り返り、意見交換
岩川校区社協座談会 (野田委員)	令和4年10月2日	5名	見守り活動振り返り、意見交換
岩川校区社協座談会 (田中委員)	令和4年10月30日	4名	見守り活動振り返り、意見交換
菅牟田校区ネットワーク会議	令和5年2月24日	12名	見守り活動振り返り、意見交換
笠木校区社協福祉の集い事前準備	令和5年2月2日	9名	福祉の集い2/11事前の準備
笠木校区社協福祉の集い	令和5年2月11日	40名	作品作り、レクリエーション
笠木校区社協ネットワーク会議	令和5年2月27日	15名	見守り活動振り返り、意見交換
大隅南校区社協グラウンドゴルフ大会	令和4年11月23日	60名	校区社協、公民館、青年部共催
大隅南校区社協ネットワーク会議	令和5年3月2日	16名	見守り活動振り返り、意見交換
恒吉校区社協福祉大会	令和4年11月20日	100名	講話、児童の唄、作文、余興、体操教室
恒吉校区社協ネットワーク会議	令和5年2月19日	25名	見守り活動振り返り、意見交換
月野校区社協師走の集い	令和4年12月4日	100名	グラウンドゴルフ交流、体操教室の紹介
月野校区社協ネットワーク会議	令和5年3月8日	38名	見守り活動振り返り、意見交換
おりた自治会見守り声かけ支援講座	令和4年11月16日	22名	認知症サポーター養成講座、声かけ支援
大隅北校区社協ネットワーク会議	令和5年3月16日	38名	見守り活動振り返り、意見交換

・地域福祉活動関係研修の開催・・・開催なし

(3) 地域の福祉推進（テーマ別課題解決）事業

校区社会福祉協議会主催による活動で地域福祉課題の解決につながる事業を助成

テーマ	実績
課題解決を図る独創的な福祉活動(民生委員単位での座談会、居場所づくりなど)	12 校区社協へ助成
地域福祉活動計画の策定	(申請なし)
福祉のつどい又は社会福祉大会の開催	15 校区社協へ助成

(4) 在宅介護支援事業

在宅介護者等の相談に応じる窓口を開設し、お互いの思いを語り合う場づくりと必要に応じた技術的な支援

- ・認知症の方などを支える介護者等を対象にした「ほっとカフェ」の開催

ア 定期開催 財部地区と大隅地区で定期的に相談窓口を開設

開催場所	開催日	参加者数
財部保健福祉センター	第3水曜日	<b>70人</b>
大隅弥五郎伝説の里	第3木曜日	<b>1人</b>

イ 特別開催 語り合う場づくりを各地区で開催…(開催なし)

ウ 専門職の派遣等による介護方法の技術的な支援…(要請なし)

(5) 弁護士による相談窓口設置事業

弁護士の協力を得て、市民を対象にした無料相談窓口を設置

- ・ひまわりの会による無料福祉相談窓口（原則として第3木曜日）

開催日	相談件数	備考
第3木曜日	24件	電話6件、対面18件

- ・藤尾直人弁護士による無料法律相談会（原則として第2・3火曜日）

開催日	相談件数	備考
第2火曜日	20件	財部保健福祉センター 13:00~15:00
第3火曜日	24件	大隅弥五郎伝説の里 18:00~20:00
合計	44件	

(6) 100歳到達者への祝金贈呈事業

市内に居住する100歳に達した方に祝金の贈呈…21人

(7) 法外援護事業

火災や自然災害に遭った方へのお見舞いや浮浪者の移動援護

- ・被災者へのお見舞金の贈呈…**3件**
- ・浮浪者への交通費の支給…**1件**

## 2 ボランティア・市民活動センター事業

### (1) ボランティア数及び活動状況

・ボランティア登録数

区 分	団体数	人数
A 登録する団体のうちボランティア活動を主目的とする団体	33	603
B 登録する団体のうちボランティア活動を主目的としない団体	8	134
C 登録個人ボランティア	—	57
小 計 (A+B+C)	41	794
D ボランティア活動を行う団体として把握している未登録の団体 (ボランティア活動を主目的とする・しないを問わない)	3	30
個人でボランティア活動を行う者として把握する未登録の者	—	1
合 計 (A+B+C+D)	44	825

・ボランティア相談件数…22 件

主な 相談内容	ボランティア登録、ふれあい・いきいきサロン活動、ボランティア活動、福祉教育への講師要請、住民参加型在宅福祉サービス「ほっとサービス」
------------	--

・ボランティア幹旋件数…16 件

主な 幹旋内容	ふれあい・いきいきサロン活動支援、ボランティア活動希望者へ活動紹介・支援、ほっとカフェボランティア、福祉教育出前講座、体操教室活動支援
------------	---

### (2) ボランティア活動保険加入助成

ボランティア活動保険加入者への加入掛金の一部助成・・・ 2,200 円 (22 名)

### (3) ボランティア団体・グループ等連絡会の開催

・ほっとサービス協力会員連絡会

協力会員のスキルアップと情報交換

令和 4 年 11 月 25 日 (金) そお生きいき健康センター	・講演「聴き方スキルアップ講座～相手がほっとする♪聴き上手になる～」 NPO 法人かごしまメンタルパートナー協会 理事長 江並 智子 氏
参加者 22 人	

### (4) 災害ボランティアセンター関係

・災害ボランティア設置・運営訓練

災害ボランティアセンター設置・運営に関わるボランティアのステップアップ研修

令和 5 年 2 月 19 日 (日)	・災害ボランティアセンターについて
---------------------	-------------------

大隅総合運動公園体育館		・災害ボランティアセンター設置・運営訓練
参加者	11人	

(5) おもちゃ病院の仲介・活動支援…21件

(6) 手話奉仕員養成講座（受託事業）

- ・曾於市手話言語条例の制定に基づき、市内に手話奉仕員を育成・配置するため、手話奉仕員養成カリキュラムの実施

講座名	年月日	参加者数	備考
第15回 講習会	11月2日	16人	講師：時任 正二 崎田 典子
第16回 講習会	11月9日	19人	
第17回 講習会	11月16日	16人	
第18回 講習会	11月30日	19人	

- ・入門課程修了者・・・22人

(7) そお暮らしの保健室事業測定ボランティア派遣業務（受託事業）

曾於市が実施する、保健事業と介護予防の一体的事業の一つである、「そお暮らしの保健室事業」に係るボランティアの派遣調整を行いました。

- ・事業説明会の開催

開催日時	開催場所	参加者数	合計
令和4年8月26日 10時	大隅弥五郎伝説の里	9人	44人
令和4年8月26日 14時	財部保健福祉センター	13人	
令和4年8月30日 10時	そお生きいき健康センター	16人	
令和4年8月30日 18時	そお生きいき健康センター	6人	

- ・ボランティア派遣実績

地域	月 日	場 所	ボランティア数
財部地域	令和4年9月6日	ヒロセ	6人
	令和4年9月27日	きらら館	6人
	令和4年10月18日	ヒロセ	6人
	令和4年11月8日	ヒロセ	5人
	令和4年11月29日	鮫島クリニック	6人
	令和4年12月20日	ヒロセ	5人

	令和5年1月24日	鮫嶋クリニック	6人
末吉地域	令和4年9月20日	Aコープ末吉店	4人
	令和4年10月11日	Aコープ末吉店	3人
	令和4年11月1日	メセナ	3人
	令和4年11月22日	メセナ	4人
	令和4年12月13日	メセナ	4人
	令和5年1月17日	Aコープ末吉店	4人
大隅地域	令和4年9月13日	大隅弥五郎伝説の里	5人
	令和4年10月4日	そう太くん市場	5人
	令和4年10月25日	ニシムタ	6人
	令和4年11月15日	そう太くん市場	5人
	令和4年12月6日	ニシムタ	5人
	令和5年1月10日	ニシムタ	4人
計			92人

### 3 赤い羽根共同募金助成事業

#### (1) ささえあいネットワーク事業

- ・在宅福祉アドバイザーによる見守り活動の推進

#### ア 在宅福祉アドバイザーの配置

(令和5年3月31日現在)

	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
アドバイザー数	155人	265人	170人	590人
見守り回数	13,806回	21,677回	13,957回	49,440回

#### イ 在宅福祉アドバイザーが見守る要援護者数

地区	区分	寝たきり	認知症	難病	障がい者	母子寡婦父子	その他	入院	入所	区分なし	計	合計
財部	独居高齢者	0	1	0	16	0	1	0	0	172	190	274人
	高齢者世帯	0	0	0	2	0	0	0	0	32	34	
	独居世帯	0	0	1	5	0	0	0	0	19	25	
	同居世帯	0	0	2	4	0	0	0	0	19	25	
末吉	独居高齢者	0	6	1	22	1	0	0	0	438	468	643人
	高齢者世帯	0	0	0	6	0	0	0	0	72	78	
	独居世帯	0	0	1	7	0	0	0	0	44	52	

	同居世帯	0	0	0	5	1	0	0	0	39	45	
大隅	独居高齢者	0	1	0	29	0	2	2	0	349	383	490人
	高齢者世帯	0	0	2	3	0	0	0	0	37	42	
	独居世帯	0	0	0	5	0	0	0	0	23	28	
	同居世帯	0	0	0	4	0	0	0	0	33	37	
合計	独居高齢者	0	8	1	67	1	3	2	0	959	1,041	1,421人
	高齢者世帯	0	0	2	11	0	0	0	0	141	154	
	独居世帯	0	0	2	17	0	0	0	0	86	105	
	同居世帯	0	0	2	14	1	0	0	0	104	121	

ウ 26 校区ネットワーク会議の支援（校区社協、市との共催）…26 校区社協

エ 在宅福祉アドバイザー手引きの作成…一部改訂

オ 在宅福祉アドバイザー活動に対する助成…**1,148,000 円（574 名分）**

カ 企業等による見守り活動…**10 件**

- ・ 支え合いマップづくりの支援

地図を活用した、地域の情報や課題の明確化と共有、課題解決の協議

	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
開催数	<b>6 か所</b>	<b>12 か所</b>	<b>1 か所</b>	<b>19 か所</b>

- ・ 民生委員との意見交換会の支援

民生委員と在宅福祉アドバイザー等の情報・意見交換

	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
開催数	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>13 か所</b>	<b>13 か所</b>

## (2) 子育て支援事業

- ・ 子ども食堂への支援…活動助成（**120,000 円、4 団体**）
- ・ 子育てサロン活動への支援…（対象団体なし）

## (3) 障がい者支援事業

- ・ 障がい者支援連絡会の開催

協働による障がい者が安心して生活できる地域づくりを目的とした障がい福祉団体のネットワークづくり

令和 4 年 10 月 24 日 そお生きいき健康センター		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講演 「地域生活における権利擁護～地域共生社会～」</li> <li>・ 意見交換</li> </ul>
参加者	11 人	

- ・ ふれあいマルシェの開催

地域の店舗を活用し、住民と障がい者、障がい福祉団体の交流、相互理解を深める場

令和4年12月18日 Aコープ末吉店		物品販売を通じた交流、地域参加促進活動
参加者	20人	

・お掃除サポート事業の実施

障がい者の方が自宅で快適に生活できるよう年末年始のお掃除を支援(専門業者に委託)

9月末まで周知、10月3日から受付

サービス実施期間：令和4年11月1日～令和5年2月13日

申込件数：105件

サービス実施件数：93件

・手話奉仕員養成フォローアップ

手話奉仕員養成講習会入門課程修了者を対象に基礎課程受講に向けたフォローアップ

回	年月日	参加者数	備考
第1回	12月7日	10人	講師：時任 正二
第2回	12月21日	7人	
第3回	1月18日	6人	
第4回	2月1日	6人	
第5回	2月15日	8人	
第6回	3月1日	5人	
第7回	3月15日	5人	

(4) ほっとサービス（住民参加型在宅福祉サービス）事業

住民を主体とした有償の生活支援活動（会員登録制）

・会員数及び提供数

依頼会員数	82人（財部40末吉25大隅17）
協力会員数	46人（財部16末吉18大隅12）
サービス提供数	185件（財部52末吉90大隅42）

・サービスの内容

買い物支援	ゴミ出し・分別	受診の付添	簡単な庭整備	墓参り代行	歩行・更衣介助	清掃	除草剤散布ほか	棚補強ほか	家具移動	その他	合計
121	48	0	0	0	0	13	0	0	0	3	185

(5) 福祉教育及びボランティア活動推進事業

・市内の全小中高校をボランティア協力校に指定

	小学校	中学校	高等学校	計
ボランティア協力校数	<b>19</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>23</b>
助成金を交付した学校	<b>18</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>21</b>

・ボランティア協力校連絡会の開催

令和4年6月29日(金) 財部保健福祉センター		・講話「福祉教育のねらいとその推進方法について」 鹿児島県社協ボランティアセンター 大迫 元信 氏
参加者	12人	・グループワーク 「福祉教育カリキュラムとプログラムの作成」
令和5年2月15日(水) 財部保健福祉センター		・福祉教育実践発表 「福祉教育出前授業は新たな気づきに」 曾於市立柳迫小学校教諭 池崎 真佑見 氏
参加者	11人	・活動報告 「そおれんじキッズプロジェクト末吉小学校5年生の取り組み発表」 曾於市福祉介護課地域支援係保健師 宮原 友紀 氏
・グループワーク 「福祉教育実践について情報・意見交換」		

・福祉教育出前講座の開催（末吉：光神小4人・柳迫小16人 大隅：菅牟田小4人・大隅北小9人、岩川小学校50名）

参加者数	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
	<b>0人</b>	<b>20人</b>	<b>63人</b>	<b>83人</b>

・サマーボランティア体験活動の開催

命を守る講座	恒吉小学校	参加者
	中止	—
夏休み交流体験活動（小学生）	中止	—
中・高生向けプログラム	中止	—
ふくしワークショップ	令和5年1月15日	<b>14人</b>
	令和5年1月22日	<b>64人</b>
	令和5年1月29日	<b>5人</b>

(6) ふれあい・いきいきサロン事業

住民主体型の身近な地域における住民の生きがい、つながり、居場所づくりの推進

・サロン団体数

設置数	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
	<b>33</b>	<b>46</b>	<b>16</b>	<b>95</b>

助成金交付サロン…**72サロン**

自主運営サロン…**8サロン**

・サロン団体への開設補助

	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
助成団体数	<b>21</b>	<b>34</b>	<b>17</b>	<b>72</b>
助成額	<b>175,000</b>	<b>385,000</b>	<b>164,000</b>	<b>724,000</b>

・ふれあい・いきいきサロン・ミニデイ連絡会

令和4年10月31日(月) そお生きいき健康センター		・講演 「みんなで終活」 合原行政書士事務所 行政書士 合原 千尋 氏 ・意見交換
参加者	<b>38人</b>	

・サロン活動への専門職派遣…(要請なし)

(7) 居場所づくり事業

・情報紙の発行

地域の居場所同士の情報交換、つながりづくりを目的とした情報紙の発行

つながりもんSOO通信(第6号(6月)、7号(9月)、8号(12月)、9号(3月)発行)

・ほっとcafé俺の開催

男性の在宅介護者を対象に同じ立場の人同士が語り、共感し合い、つながりづくりを推進する居場所づくり

年月日	参加者数	主な内容
令和4年4月18日	<b>8人</b>	調理(弁当)
令和4年5月31日	<b>6人</b>	調理(弁当) ミニ講話「自宅でできる体操」(包括)
令和4年6月28日	<b>6人</b>	調理(弁当) サマボラ話し合い
令和4年7月29日	<b>6人</b>	調理(弁当)
令和4年8月30日	<b>5人</b>	講話「交通安全」(曾於警察署) ゲーム
令和4年9月27日	<b>5人</b>	調理(弁当)
令和4年10月25日	<b>6人</b>	調理(弁当)
令和4年11月29日	<b>5人</b>	調理(弁当)

年月日	参加者数	主な内容
令和4年12月20日	4人	ミニ門松作り
令和5年1月31日	6人	調理(弁当)
令和5年2月28日	5人	調理(弁当)
令和5年3月28日	6人	振り返り・調理(弁当)

・男子ごはんの開催

主に男性の一人暮らし高齢者を対象とした料理教室を開催。食の自立を図ると共に仲間づくり、地域参加を促進する居場所づくり。

年月日	参加者数	主な内容
令和4年9月30日	6人	調理を主とした交流
令和4年10月27日	4人	調理を主とした交流
令和4年11月17日	4人	調理を主とした交流
令和4年12月7日	6人	調理を主とした交流
令和5年1月19日	5人	調理を主とした交流
令和5年2月24日	7人	調理を主とした交流
令和5年3月17日	3人	調理を主とした交流

(8) 心配ごと相談開設事業

・心配ごと相談所の開設(毎月第4木曜日)

・相談員

	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
相談員数	4人	4人	4人	12人

・相談件数

相談内容	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
生計				
年金				
職業・生業				
住宅				
家族			1	1
結婚				
離婚				
健康・衛生				
医療	1			1
精神衛生				
人権・法律				
財産	1	2		3

相談内容	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
事故				
児童福祉・母子保健				
教育・青少年				
心身障害者(児)福祉				
母子福祉・父子福祉				
老人福祉				
苦情				
その他	2	1		3
相談件数計	4	3	1	8

・相談員連絡会の開催

令和5年3月23日(木) そお生きいき健康センター		<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交換 「心配ごと相談事業をふりかえって」</li> <li>・曾於市社会福祉協議会事業へのご協力について ささえあいネットワーク事業 ほっとサービス事業(住民参加型福祉サービス事業) 福祉サービス利用支援事業</li> </ul>
参加者	9人	

※令和5年3月31日をもって本事業は終了→各社協窓口で随時対応

#### 4 歳末たすけあい募金助成事業

(1) 地域の福祉推進(テーマ別課題解決)事業…「1 地域福祉活動推進事業」の「(3) 地域の福祉推進(テーマ別課題解決)事業」を参照

(2) お掃除サポート事業

障がい者の方が自宅で快適に生活できるよう年末年始のお掃除を支援(専門業者に委託)  
令和4年度実施件数…93件

#### 5 生活支援体制整備事業(受託事業)

地域で生活する高齢者等が自助、共助、公助による切れ目のない支援によりその人らしく安心して生活できるよう、地域による生活支援の仕組みづくりを推進。

(1) 財部地域生活支援体制整備事業

・各種会議出席状況

生活支援体制整備事業第2層連絡会	2回	第2層地区別打合せ	5回
地区民児協定例会	11回	地域ケア個別会議	2回
自立支援会議	2回	サロン、体操教室立ち上げ関係	2回
保健事業と介護予防の一体的実施事業	2回	校区社協事業打合せ	5回

そおオレンジキッズプロジェクト	1回		
-----------------	----	--	--

・資源把握活動状況

サロン、体操教室、ミニデイ訪問	7回	ほっとカフェ訪問	2回
-----------------	----	----------	----

・その他

校区社協ネットワーク会議、ささえあいマップ作り等

## (2) 末吉地域生活支援体制整備事業

・各種会議出会状況

生活支援体制整備事業第2層連絡会	3回	第2層地区別打合せ	3回
地区民児協定例会	12回	地域ケア個別会議	7回
自立支援会議	8回	サロン、体操教室立ち上げ関係	7回
保健事業と介護予防の一体的実施事業	5回	校区社協事業打合せ	9回
そおオレンジキッズプロジェクト	1回		回

・資源把握活動状況

サロン、体操教室、ミニデイ訪問	17回	ほっとカフェ訪問	2回
-----------------	-----	----------	----

・その他

校区社協ネットワーク会議、ささえあいマップ作り等

## (3) 大隅地域生活支援体制整備事業

・各種会議出会状況

生活支援体制整備事業第2層連絡会	1回	第2層地区別打合せ	2回
地区民児協定例会	12回	地域ケア個別会議	1回
自立支援会議	2回	サロン、体操教室立ち上げ関係	6回
保健事業と介護予防の一体的実施事業	2回	校区社協事業打合せ	0回
そおオレンジキッズプロジェクト	3回		

・資源把握活動状況

サロン、体操教室、ミニデイ訪問	2回	グラウンドゴルフ訪問	0回
自治会、移動販売、事業所訪問	4回		

・その他

校区社協ネットワーク会議、座談会等

## 6 福祉資金貸付事業

世帯の生活の自立と在宅福祉、生活助長を図ることを目的とした、資金貸付と相談支援

### (1) 相談・援助と課題解決への支援

(2) 生活福祉資金貸付事業への協力

・生活福祉資金貸付状況

貸付種類別	件数 (件)	金額 (円)
総合支援資金 生活支援費	69	37,900,000
うちコロナ特例	68	37,000,000
福祉資金 福祉費	技能習得経費	1 250,000
	障害者用自動車購入経費	2 3,500,000
	冠婚葬祭経費	2 419,000
	住居移転等経費	2 825,000
	その他日常生活経費	1 65,000
教育支援資金	教育支援費・就学支度費	6 14,381,000
	教育支援費	1 1,440,000
	就学支度費	4 1,227,000
福祉資金 緊急小口資金		73 13,320,000
	うちコロナ特例	71 13,120,000
計	161	73,327,000

(3) 小口福祉資金貸付事業

・小口福祉資金の貸付状況 (令和5年3月31日現在)

	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
件数 (件)	8	8	2	18
未償還額(円)	142,000	167,500	17,000	326,500

7 一般介護予防事業 (市委託事業)

介護予防と居場所づくりによるフレイル予防、地域参加、生きがい、つながりづくりの促進。

・一般介護予防事業 転倒予防教室実績 (令和5年3月31日現在)

財部地区	開催校区、開催地域、 開催場所	開催 日数	参加者		指導補助員	
			実人数	延利用回数	実人数	活動延回数
高山体操教室	財部校区北俣、高山自治会、高山公民館	11日	16人	120回	2人	12回

末吉地区	開催校区、開催地域、 開催場所	開催 日数	参加者		指導補助員	
			実人数	延利用回数	実人数	活動延回数
高岡体操教室	高岡校区、高岡下自治会、高岡下自治公民館	12日	23人	157回	1人	10回
ごま体操教室	諏訪校区、胡摩自治会、胡摩自治公民館	12日	17人	138回	2人	13回

末吉地区	開催校区、開催地域、 開催場所	開催 日数	参加者		指導補助員	
			実人数	延利用回数	実人数	活動延回数
北部体操教室	北部校区、北部地区 北部地区公民館	12日	38人	298回	2人	14回
ワクワク体操教室	諏訪校区、西高松自治 会、西高松公民館	12日	12人	96回	1人	10回
コスモス見帰 体操教室	穂校区、見帰自治会周 辺、見帰公民館	12日	8人	79回	1人	10回
小中野体操教 室	南部校区、小中野、小 中野後自治会、小中野 公民館	12日	8人	76回	1人	10回
かりや体操教 室	穂校区、仮屋自治会、 仮屋自治公民館	12日	16人	94回	1人	10回

大隅地区	開催校区、開催地域、 開催場所	開催 日数	参加者		指導補助員	
			実人数	延利用回数	実人数	活動延回数
えのっだん体 操教室	大隅北校区、榎木段自 治会、榎木段公民館	7日	16人	88回	2人	6回
かみさかもと 体操教室	大隅北校区、坂元自治 会、上坂元自治公民館	11日	6人	42回	2人	10回
八合原体操教 室	月野校区、八合原自治 会周辺、八合原自治公 民館	12日	18人	150回	2人	14回
ふじサロン	大隅北校区、おりた自 治会、おりた自治公民 館	12日	15人	154回	1人	10回
新坂元サロン 会	大隅北校区、新坂元自 治会、新坂元自治公民 館	12日	5人	40回	1人	10回
レインボーグ ループ	岩川校区、西中園自治 会周辺、西中園自治公 民館	12日	15人	124回	1人	9回
さわやかはや ま体操教室	大隅北公民館、坂元自 治会、中坂元自治公民 館	12日	12人	80回	2人	9回
持留健康クラ ブ	月野校区、持留自治会 周辺、持留自治公民館	12日	12人	97回	1人	9回

大隅地区	開催校区、開催地域、 開催場所	開催 日数	参加者		指導補助員	
			実人数	延利用回数	実人数	活動延回数
あおぞら体操 教室	月野校区、月野地区公 民館周辺、月野地区公 民館	<b>12日</b>	<b>14人</b>	<b>74回</b>	<b>2人</b>	<b>13回</b>
城下体操教室	新城自治会 新城自治公民館	<b>12日</b>	<b>18人</b>	<b>88回</b>	<b>1人</b>	<b>10回</b>

### III 地域福祉課 事業係関係

事業係は、令和 4 年度も新型コロナウイルス感染症等の感染予防に努めながら、業務継続マニュアルに基づき、感染者発生時の対応など定期的な訓練を重ね、サービスが安定的・継続的に提供できるように取り組みました。

居宅介護支援事業については、令和 4 年 4 月から財部事業所と大隅事業所を 1 事業所に統合し、事業の効率化と特定事業所の体制強化を図りました。利用者様やご家族の安心した在宅生活の支援に基づいたアセスメントを実施し、地域資源を活かした計画の作成を行っています。

訪問サービスについては、引き続き訪問介護員の不足により、新規の依頼に応じることが困難な状況が続いており、大隅地域に関しては数名の利用者様を他事業所に移行しました。通所介護事業所の職員に訪問介護職員を兼務する事業所間での連携により、財部地域に関しては利用者様の支援を継続して行えています。

障害の居宅介護サービスは、令和 4 年 10 月から介護職員処遇加算の取得により 1 人当たりの処遇手当の支給額が大幅に増加したことで職員の意欲の向上を図ることができました。

訪問入浴介護事業及び障がい者等に対する訪問入浴サービス事業の実績は、前年度の実績を上回ることができました。しかし、機材や車両など、経年使用により故障や不具合が見られるようになっており、その際の修理の費用や時間への対応策の検討が必要と考えています。

通所介護事業は、新型コロナウイルス感染症の発生により、3 日間の営業中止を余儀なくされましたが、4 月から個別機能訓練加算等を新たに算定するなどサービスの質の向上に努めたことで、前年度の実績を上回ることができました。

小規模多機能ホームより愛さかもとは、新規利用や新規相談がありました。体制の整備が整っていないことにより、利用継続困難や利用契約に至らないことがありました。そのため、平均登録者数の減少で、「通い」や「訪問」、「宿泊」の利用延べ回数が減少となりました。体制整備に努め、専門性とサービスの質の向上を図ってまいります。

訪問給食サービスは、市からの受託事業として大隅地域を中心に配食しており、一人暮らしや調理困難な高齢者の安否確認と在宅生活の維持のための支援に取り組みました。原材料やガソリン代、消耗品等の価格高騰により経常経費が増加しましたが、前年度を上回る約 45,000 食を配食することで、収益を増加することができました。配食委託職員数が減りましたが、使い捨て容器への変更をすることで洗浄作業を減らし、職員全員で配達業務を実施することで、より利用者様の状況把握の強化を図ることができました。

引き続き、新型コロナウイルス感染症等の感染防止の徹底に努め、業務改善を図るとともに、安定した事業経営に取り組んでまいります。

## 地域福祉課事業係関係事業実績

### 1 福祉サービス事業

(1) 居宅介護支援事業（第1号介護予防支援事業含む）

・居宅介護支援事業経営指標

（令和5年3月31日現在）

経営指標	各指標	令和4年度	令和3年度	差分
事業所データ	常勤換算職員数	6.6 人	8 人	-1.4 人
	延べケアプラン数(介護)	2,375 件	3,004 件	-629 件
	延べケアプラン数(予防)	91 件	185 件	-94 件
	営業日数	246 日	245 日	1 日
	平均介護度	2.1	2.09	0.01
収益性	サービス活動収益	38,644,360 円	48,569,891 円	-9,925,531 円
	サービス活動費用	36,192,482 円	45,800,857 円	-9,608,375 円
	サービス活動増減差額	2,451,878 円	2,769,034 円	-317,156 円
	増減差額率	6.3 %	5.7 %	0.6 %
機能性	1月平均ケアプラン数	206 件	266 件	-60 件
	職員1人当たりケアプラン数	31.1 件	33.2 件	-2.1 件
	ケアプラン1件当たりのサービス活動収益	15,671 円	15,230 円	441 円
合理性	人件費率(人件費,福利厚生費)	85.2 %	84.7 %	0.5 %
	経費率(事務費,事業費)	8.2 %	9.5 %	-1.3 %
	減価償却費率	0.2 %	0.2 %	0 %
生産性	職員1人当たり給与費	4,986,940 円	5,139,681 円	-152,741 円
	職員1人当たりサービス活動収益	5,855,206 円	6,071,236 円	-216,030 円
	労働生産性	5,326,137 円	5,460,956 円	-134,819 円
	労働分配率	93.6 %	94.1 %	-0.5 %

・その他

ア 定例会の開催（毎週）

イ 介護支援専門員合同勉強会（学びの会）、合同勉強会の開催（毎月）…毎月開催

ウ 特定事業所としての体制維持

エ 法定研修等における実習受入事業所としての人材育成協力体制の確保

オ 介護支援専門員業務関連の統一化

カ 運営基準に基づく業務遂行の徹底及び確認

キ 介護支援専門員協議会、その他関連団体等が開催する研修会への積極的参加

ク 多職種連携会議等への参加

ケ BCP（事業継続計画）の作成・定期的な見直しの実施

## (2) 訪問介護事業（第1号訪問事業含む）

## ・訪問介護等事業経営指標

（令和5年3月31日現在）

経営指標	各指標	令和4年度	令和3年度	差分
事業所データ	常勤換算職員数	6.1 人	6.5 人	-0.4 人
	延べ利用者数	429 人	464 人	-35 人
	延べ利用者数(基準型・総合)	364 人	441 人	-77 人
	利用者延べ回数	4,637 件	5,549 件	-912 件
	利用者延べ回数(基準型・総合)	2,142 件	2,472 件	-330 件
	営業日数	365 日	365 日	0 日
	平均介護度	1.28	1.32	-0.04
収益性	サービス活動収益	26,206,807 円	28,924,086 円	-2,717,279 円
	サービス活動費用	24,707,169 円	29,654,545 円	-4,947,376 円
	サービス活動増減差額	1,499,638 円	-730,459 円	2,230,097 円
	増減差額率	5.7 %	-2.5 %	8.2 %
機能性	1日平均利用回数	18.6 件	22 件	-3.4 件
	職員1人当たり1日の担当利用回数	3.0 件	3.4 件	-0.4 件
	利用者1件当たりのサービス活動収益	3,866 円	3,606 円	260 円
合理性	人件費率(人件費,福利厚生費)	86.5 %	95.4 %	-8.9 %
	経費率(事務費,事業費)	7.6 %	6.9 %	0.7 %
	減価償却費率	0.2 %	0.2 %	0 %
生産性	職員1人当たり給与費	3,688,173 円	4,263,498 円	-575,325 円
	職員1人当たりサービス活動収益	4,267,051 円	4,472,797 円	-205,745 円
	労働生産性	3,886,074 円	4,107,196 円	-221,121 円
	労働分配率	94.9 %	103.8 %	-8.9 %

## ・その他

- ア 定例会の開催（毎月）
- イ 各関係団体等が開催する研修会への参加
- ウ 介護福祉士資格取得の促進
- エ 認知症ケア等の専門知識の強化
- オ 統一した支援実施のためのヘルパー間の連携強化
- カ 特定事業所加算の取得に向けた人材育成
- キ 事業継続の為の人材確保

## (3) 訪問入浴介護事業（介護予防訪問入浴介護含む）

## ・訪問入浴介護事業経営指標

（令和5年3月31日現在）

経営指標	各指標	令和4年度	令和3年度	差分
事業所 データ	常勤換算職員数	1.6 人	2 人	-0.4 人
	延べ利用者数	80 人	72 人	8 人
	利用者延べ回数	507 件	436 件	71 件
	営業日数	205 日	199 日	6 日
	平均介護度	4.06	4.05	0.01
収益性	サービス活動収益	7,527,675 円	6,095,380 円	1,432,295 円
	サービス活動費用	6,194,898 円	5,762,704 円	432,194 円
	サービス活動増減差額	1,332,777 円	332,676 円	1,000,101 円
	増減差額率	17.7 %	5.5 %	12.2 %
機能性	1日平均利用回数	2.5 件	2.2 件	0.3 件
	職員1人当たり1日の担当利用回数	1.5 件	1.1 件	0.4 件
	利用者1件当たりのサービス活動収益	14,847 円	13,980 円	867 円
合理性	人件費率(人件費,福利厚生費)	73.5 %	84.6 %	-11.1 %
	経費率(事務費,事業費)	8.8 %	10 %	-1.2 %
	減価償却費率	0 %	0 %	0 %
生産性	職員1人当たり給与費	3,458,441 円	2,576,862 円	881,579 円
	職員1人当たりサービス活動収益	4,704,797 円	3,047,690 円	1,657,107 円
	労働生産性	4,260,376 円	2,727,059 円	1,533,317 円
	労働分配率	81.2 %	94.5 %	-13.3 %

## ・その他

ア 定例会の開催（毎月）

イ 感染防止のための洗浄消毒の徹底と定期的な感染症防止研修の開催

ウ 医療の高度化に伴う各医療機関及び訪問看護事業所との連携強化

エ 入浴機器類の定期的点検の実施と入浴機器の安全確保

オ 曾於市唯一の訪問入浴介護事業所としての啓発活動

## (4) 通所介護事業（第1号通所事業含む）

・通所介護等事業経営指標

（令和5年3月31日現在）

経営指標	各指標	令和4年度	令和3年度	差分
事業所データ	定員数	36 人	36 人	0 人
	常勤換算職員数	11.2 人	11.2 人	0 人
	利用者延べ回数	5,623 件	5,369 件	254 件
	利用者延べ回数(基準型)	783 件	663 件	120 件
	利用者延べ回数(基準緩和型)	372 件	606 件	-234 件
	営業日数	309 日	310 日	-1 日
	平均介護度	1.44	1.32	0.12
収益性	サービス活動収益	55,959,775 円	47,805,702 円	8,154,073 円
	サービス活動費用	46,196,413 円	41,456,806 円	4,739,607 円
	サービス活動増減差額	9,763,362 円	6,348,896 円	3,414,466 円
	増減差額率	17.4 %	13.3 %	4.1 %
機能性	1月平均利用回数	20.7 件	19.5 件	1.2 件
	1日当たり平均利用率(稼働率)	57.6 %	54.1 %	3.5 %
	利用者10人当たり職員数	5.4 人	5.8 人	-0.4 人
	利用者1人1日当たりのサービス活動収益	8,736 円	7,925 円	811 円
合理性	人件費率(人件費,福利厚生費)	62.2 %	65.6 %	-3.4 %
	経費率(事務費,事業費)	18 %	17.7 %	0.3 %
	減価償却費率	2.4 %	3.4 %	-1 %
生産性	職員1人当たり給与費	3,091,697 円	2,785,662 円	306,035 円
	職員1人当たりサービス活動収益	4,996,408 円	4,268,366 円	728,042 円
	労働生産性	3,937,902 円	3,330,801 円	607,101 円
	労働分配率	78.5 %	83.6 %	-5.1 %

・その他

ア 定例会の開催（毎月）

イ 法定研修に加え、認知症ケアや介護技術に関する勉強会の開催

ウ 送迎車両の整備と乗車前後点検の実施、及び安全運転と交通法規の遵守徹底

エ 法令遵守の徹底、身体拘束・虐待防止の徹底

オ 感染防止のための洗浄消毒の徹底と定期的な感染防止研修の開催

カ 曾於市介護予防・日常生活支援総合事業に応じた事業の展開と、それに伴う曾於市認定介護予防サポーターの育成

キ 介護福祉士資格取得の促進

ク 地域住民やボランティア団体、関係機関との連携及び協力

(5) 小規模多機能型居宅介護事業（介護予防小規模多機能型居宅介護含む）

・小規模多機能型居宅介護サービス経営指標

（令和5年3月31日現在）

経営指標	各指標	令和4年度	令和3年度	差分
事業所 データ	定員	22 人	22 人	0 人
	常勤換算職員数	10.4 人	9.8 人	0.6 人
	延べ登録者数	227 人	241 人	-14 人
	延べ通い回数	2,450 件	3,012 件	-562 件
	延べ宿泊回数	168 件	177 件	-9 件
	延べ訪問回数	4,535 件	5,901 件	-1,366 件
	営業日数	365 日	365 日	0 日
	平均介護度	2.28	2.35	-0.07
収益性	サービス活動収益	54,829,256 円	58,024,337 円	-3,195,081 円
	サービス活動費用	45,762,967 円	42,782,699 円	2,980,268 円
	サービス活動増減差額	9,066,289 円	15,241,638 円	-6,175,349 円
	増減差額率	16.5 %	26.3 %	-9.8 %
機能性	1月平均登録者数	18.9 人	20.1 人	-1.2 人
	1月当たり平均登録率(稼働率)	86 %	91.3 %	-5.3 件
	登録者1人当たりの サービス活動収益	241,539 円	240,765 円	774 円
合理性	人件費率(人件費,福利厚生費)	73.8 %	64.8 %	9 %
	経費率(事務費,事業費)	9.1 %	8.2 %	0.9 %
	減価償却費率	2 %	2 %	0 %
生産性	職員1人当たり給与費	3,885,671 円	3,835,984 円	49,687 円
	職員1人当たりサービス活動収 益	5,267,823 円	5,920,851 円	-653,028 円
	労働生産性	4,631,218 円	5,275,596 円	-644,378 円
	労働分配率	83.9 %	72.7 %	11.2 %

・その他

- ア 定例会の開催（毎月）及び運営推進会議の開催（隔月）
- イ 認知症ケアや介護技術の勉強会の開催
- ウ 地域との連携強化と地域福祉活動の促進
- エ 訪問サービス支援体制の強化
- オ 地域包括ケアシステム推進を担う事業所としての機能強化（宿泊機能強化等）
- カ 認知症高齢者に対する地域の理解促進のための啓発活動
- キ 感染防止及び衛生管理のための定期的な研修の開催
- ク 介護福祉士資格取得の促進

## (6) 居宅介護事業（重度訪問介護事業含む）

## ・居宅介護サービス経営指標

（令和5年3月31日現在）

経営指標	各指標	令和4年度	令和3年度	差分
事業所データ	常勤換算職員数	1.9 人	2 人	-0.1 人
	延べ利用者数	96 人	70 人	26 人
	利用者延べ回数	1,942 人	1,911 人	31 人
	営業日数	365 日	365 日	0 日
	平均障がい支援区分	4.18	4.89	-0.71
収益性	サービス活動収益	9,400,012 円	7,877,308 円	1,522,704 円
	サービス活動費用	7,487,857 円	5,367,720 円	2,120,137 円
	サービス活動増減差額	1,912,155 円	2,509,588 円	-597,433 円
	増減差額率	20.3 %	31.9 %	-11.6 %
機能性	1日平均利用回数	5.3 件	5.2 件	0.1 件
	職員1人当たり1日の担当利用回数	2.8 件	2.7 件	0.1 件
	利用者1件当たりのサービス活動収益	4,840 円	4,122 円	718 円
合理性	人件費率(人件費,福利厚生費)	72.6 %	58.1 %	14.5 %
	経費率(事務費,事業費)	7 %	10.1 %	-3.1 %
	減価償却費率	0 %	0 %	0 %
生産性	職員1人当たり給与費	3,578,028 円	2,335,079 円	1,242,949 円
	職員1人当たりサービス活動収益	4,925,770 円	4,022,455 円	903,315 円
	労働生産性	4,526,615 円	3,568,007 円	958,608 円
	労働分配率	79 %	65.4 %	13.6 %

## ・その他

- ア 定例会の開催（毎月）
- イ 障がいに応じた介護技術の勉強会の開催（随時）
- ウ 精神障がい及び知的障がい者の理解のための研修会への参加
- エ 相談支援事業所との連携強化
- オ 各関連団体等が開催する研修会への参加
- カ 介護福祉士資格取得の促進
- キ 24時間サービス提供体制の強化
- ク 統一した支援実施のためのヘルパー間の連携強化

(7) 地域生活支援事業（障害者総合支援法等に基づく訪問入浴サービス事業・生活サポート事業）

・訪問入浴サービス経営指標

（令和5年3月31日現在）

経営指標	各指標	令和4年度	令和3年度	差分
事業所データ	常勤換算職員数	1.2 人	1.4 人	-0.2 人
	延べ利用者数	24 人	21 人	3 人
	利用者延べ回数	182 件	200 件	-18 件
	営業日数	183 日	185 日	-2 日
	平均障がい支援区分	4.50	4.29	0.21
収益性	サービス活動収益	2,275,000 円	2,500,000 円	-225,000 円
	サービス活動費用	1,870,939 円	2,450,896 円	-579,957 円
	サービス活動増減差額	404,061 円	49,104 円	354,957 円
	増減差額率	17.8 %	2 %	15.8 %
機能性	1月平均利用回数	1 件	1.1 件	-0.1 件
	職員1人当たり1日の担当利用回数	0.8 件	0.8 件	0 件
	利用者1件当たりのサービス活動収益	12,500 円	12,500 円	0 円
合理性	人件費率(人件費,福利厚生費)	73.4 %	87.2 %	-13.8 %
	経費率(事務費,事業費)	8.8 %	10.8 %	-2 %
	減価償却費率	0 %	0 %	0 %
生産性	職員1人当たり給与費	1,392,215 円	1,557,391 円	-165,176 円
	職員1人当たりサービス活動収益	1,895,833 円	1,785,714 円	110,119 円
	労働生産性	1,716,419 円	1,581,886 円	134,533 円
	労働分配率	81.1 %	98.5 %	-17.3 %

・生活サポート事業利用実績…実績なし

移動支援事業経営指標（受託事業）

（令和5年3月31日現在）

経営指標	各指標	令和4年度	令和3年度	差分
事業所データ	延べ利用者数	16 人	*** 人	*** 人
	利用者延べ回数	26 件	*** 件	*** 件
	営業日数	183 日	*** 日	*** 日

・その他

ア 定例会の開催（毎月）

## (8) 訪問給食サービス事業

・大隅地区高齢者訪問給食サービス事業（受託事業）経営指標（令和5年3月31日現在）

経営指標	各指標	令和4年度	令和3年度	差分
事業所 データ	常勤換算職員数	5.8 人	5.4 人	0.4 人
	延べ利用者数(委託)	1,768 人	1,812 人	-44 人
	延べ利用者数(自主)	64 人	81 人	-17 人
	利用者延べ配食数(委託)	44,594 人	41,750 人	2,844 人
	利用者延べ配食数(自主)	1,059 人	1,534 人	-475 人
	営業日数	243 日	243 日	0 日
収益性	サービス活動収益	36,226,260 円	34,257,680 円	1,968,580 円
	サービス活動費用	35,567,981 円	32,814,962 円	2,753,019 円
	サービス活動増減差額	658,279 円	1,442,718 円	-784,439 円
	増減差額率	1.8 %	4.2 %	-2.4 %
機能性	1日平均利用配食数	187.9 人	178.1 人	9.8 人
	職員1人当たり1日の担当利用配食数	32.4 人	33.0 人	-0.6 人
	利用者1件当たりのサービス活動収益	812 円	821 円	-9 円
合理性	人件費率(人件費,福利厚生費)	59.2 %	58.8 %	0.4 %
	経費率(事務費,事業費)	36.9 %	34.9 %	2.0 %
	減価償却費率	3.3 %	3.2 %	0.1 %
生産性	職員1人当たり給与費	3,038,529 円	2,907,073 円	131,457 円
	職員1人当たりサービス活動収益	6,245,907 円	6,344,015 円	-98,108 円
	労働生産性	3,053,319 円	3,079,506 円	-26,186 円
	労働分配率	99.5 %	94.4 %	5.1 %

#### IV 権利擁護センター関係

権利擁護センターでは、成年後見事業として8名の法人後見業務を行い、福祉サービス利用支援事業については63名の支援を行いました。

市より受託している中核機関事業では成年後見制度の普及・啓発に加えて、行政と共同で曾於市版エンディングノートを作成し終活講座の開催や市民向け権利擁護講座を開催の他、身寄りのない方の支援に関するガイドライン作成に伴う作業部会の立ち上げ支援を行うなど、地域の様々な権利擁護支援体制づくりに取り組みました。

今後も、認知症高齢者や障がい者等、地域において権利を主張することが難しい住民の方々の権利を擁護するための取り組みを積極的に行ってまいります。

#### 権利擁護センター関係事業実績

##### 1 福祉サービス利用支援事業（日常生活自立支援事業）

###### (1) 専門員数、支援員数、実利用者数

- ・専門員数…4人
- ・支援員数…20人
- ・実利用者数

(令和5年3月31日現在)

実施年度 (3月末現在)	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
令和4年度	49人	7人	7人	0人	63人
令和3年度	49人	2人	3人	1人	55人
前年度対比	0人	5人	4人	-1人	8人

###### (2) 相談の受付

- ・相談援助件数…1,392件(前年度実績：1,572件)

###### (3) 支援員連絡会の開催

会議名	年月日	参加者数	主な内容
支援員連絡会	令和4年6月27日	30名	・権利擁護支援について考える ・事務処理の確認について

###### (4) 専門員会議、利用支援員研修会への参加

研修会名	年月日	参加者数	主な内容
令和4年度第1回専門員会議及び専門員セミナー	令和4年7月29日	4人	・実施状況及び実地業務調査等について ・福祉サービス利用支援事業に係る事務処理について ・権利擁護センターの実践報告

研修会名	年月日	参加者数	主な内容
			について ・精神障害者における頻繁な訴えがある利用者の対応について
専門員実践力強化研修会Ⅰ	令和4年9月20日	2人	・日常生活自立支援事業及び成年後見制度利用促進をめぐる動向について ・日常生活自立支援事業の現状と今後の展開 他
利用支援員研修会	令和4年12月7日	4人	・福祉サービス利用支援事業の現状等について ・高齢者とのコミュニケーションの取り方
令和4年度第2回専門員会議及び専門員セミナー	令和5年3月10日	2人	・実施状況及び実地業務調査等について ・福祉サービス利用支援事業に係る事務処理について ・成年後見制度の利用促進における現状について ・最後まで、一人暮らしの高齢者の生活を支える

(5) 令和4年度福祉サービス利用支援事業実施社協への現地訪問調査

年月日	参加者数
令和4年8月22日	4人

(6) 事業活動計算書

・福祉サービス利用支援事業経営指標 (令和5年3月31日現在)

経営指標	各指標	令和4年度	令和3年度	差分
収益性	サービス活動収益	3,895,000 円	3,597,200 円	297,800 円
	サービス活動費用	10,235,121 円	7,427,517 円	2,807,604 円
	サービス活動増減差額	-6,340,121 円	-3,830,317 円	-2,509,804 円
	増減差額率	-162.7 %	-106.4 %	-56.3 %

## 2 法人後見に関する事業

(1) 後見業務従事職員数、成年後見支援員数、実利用者数

・後見業務従事職員数…3人

・成年後見支援員数…0人（配置なし）

・実利用者数

（令和5年3月31日現在）

	後見	保佐	補助	合計
令和4年度	8人	0人	0人	8人
令和3年度	7人	0人	0人	7人
前年度対比	1人	0人	0人	1人

(2) 発見、相談の受付（重層的なアウトリーチ機能の確保）

・相談援助件数…180件（前年度実績：235件） ※3月末実績

(3) 運営委員会の開催

会議名	年月日	参加者数	主な内容
第1回法人後見運営委員会	令和5年2月22日	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員紹介</li> <li>・事業説明</li> <li>・実績報告</li> <li>・事務連絡</li> </ul>

(4) 関係機関が主催する連絡会への参加

会議名	年月日	参加者数	主な内容
霧島市版ガイドライン・キックオフシンポジウム	令和4年2月18日	2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・霧島市「身寄り」がなくても安心して暮らすためのガイドラインについて 他</li> </ul>
令和4年度日本司法書士支援センター鹿児島地方協議会	令和5年2月24日	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法テラス鹿児島業務実績報告</li> <li>・法テラススタッフ弁護士の実践報告 等</li> </ul>
成年後見制度に関する意見交換（志布志市）	令和5年3月20日	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市（センター）の状況について</li> <li>・意見交換について</li> </ul>

(5) 各種研修会への参加

研修会名	年月日	参加者数	主な内容
成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務研修	令和4年12月2日	3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護の基本、中核機関の役割</li> <li>・権利擁護支援の実際と取り組み 他</li> </ul>
Kーネット全国セミナー（意思決定支	令和5年3月2日	3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定支援とチームでの支援について</li> </ul>

援・任意後見)			・任意後見制度について 他
令和4年度権利擁護 支援シンポジウム	令和5年3月3日	1名	・権利擁護支援の現状について 他

(6) 権利擁護センター研修会の開催

通算	年月日	参加者数	主な内容
第11回	令和4年7月11日	43名	・魚沼市における身寄りのない人への支援に関するガイドライン ・グループワーク「自身が経験した身寄りの無い方の支援で困ったこと」

(7) 事業活動計算書

・法人後見事業経営指標

(令和5年3月31日現在)

経営指標	各指標	令和4年度	令和3年度	差分
収益性	サービス活動収益	1,270,815 円	1,523,000 円	-252,185 円
	サービス活動費用	1,037,193 円	987,701 円	49,492 円
	サービス活動増減差額	233,622 円	535,299 円	-301,677 円
	増減差額率	18.3 %	35.1 %	-16.8 %

3 成年後見制度の利用促進に係る中核機関（受託事業）

(1) 相談者件数

(令和5年3月31日現在)

相談者内訳	件数
本人	43件
家族	19件
民生委員	2件
地域包括支援センター	21件
居宅介護支援事業所	9件
医療機関	2件
事業所等(介護保険関係)	3件
事業所等(高齢者関係)	1件
行政	6件
その他	7件
合計	113件

(2) 相談形態

(令和5年3月31日現在)

相談形態	訪問	来所	電話	その他	合計
	56件	15件	41件	1件	113件

## (3) 対象者地域

(令和5年3月31日現在)

地域名	財部町	末吉町	大隅町	市外	合計
	18人	30人	24人	2人	74人

## (4) 対象者の年齢区分別集計

(令和5年3月31日現在)

年齢区分	計		
	男	女	計
64歳以下	11人	5人	16人
65～70歳	6人	2人	8人
71～74歳	8人	2人	10人
75～80歳	9人	3人	12人
81～84歳	10人	2人	12人
85歳以上	6人	10人	16人
合計	50人	24人	74人

## (5) 相談内容件数

(令和5年3月31日現在)

相談内容内訳	件数
財産管理	101件
預貯金の払い出し	90件
保険金の受領	5件
遺産分割	6件
入所・入院の契約締結	14件
裁判所の手続き	9件
不動産処分	6件
虐待及び権利侵害	11件
生活困窮	22件
福祉サービス利用支援事業	118件
その他	50件
合計	432件

## (6) その他の活動

(令和5年3月31日現在)

活動内容		件数
広報機能	広報・啓発	19件
相談機能	権利擁護支援検討会	5件
	権利擁護支援会議	4件
	ケース会議	20件

	活動内容	件数
	専門職相談	0件
利用促進機能	受任調整会議	0件
	市民後見人養成	0件
後見人支援機能	後見人活動支援	0件
利用促進協議会	協議会の開催	1件
	合計	49件

#### 4 その他の事業

##### (1) エンディングノートの周知・配布

日程	地域	団体名	参加人数
令和5年1月12日	曾於市	介護支援専門員研修会（包括主催）	12事業所
令和5年1月17日	末吉	たんぼぼ体操教室	15
令和5年2月8日	大隅	元八幡サロン	8
令和5年2月11日	末吉	なごぶいサロン	13
令和5年2月16日	末吉	国原長寿クラブ	25
令和5年2月16日	財部	十文字ふれあいタイム・絆	30
令和5年2月22日	大隅	特別養護老人ホーム おおすみ苑	50
令和5年2月23日	大隅	大隅下岡いきいきサロン	12
令和5年2月25日	末吉	五位塚サロン	6
令和5年2月27日	末吉	新町サロンほほえみ	15

##### (2) 身寄りの無い方の支援に関するガイドラインの作成

会議名	年月日	参加者数	主な内容
第1回作業部会	令和4年9月22日	12名	・ガイドライン作成の経緯について ・意見交換 他
第2回作業部会	令和4年10月27日	12名	・アンケート調査の内容検討について ・意見交換 他
第3回作業部会	令和5年2月10日	12名	・身寄り問題に関するアンケート調査結果について ・曾於市の身寄りのない人への支援に関するガイドライン（案）について 他

(3) 令和4年度市民向け権利擁護講座の開催

日 程	内 容	参加 人数
【第1回】 令和4年12月9日	地域で暮らす障がい者の権利擁護 ～障がい者の相談現場から障がい者が安心して暮らせる地域とは～ 講師 そお地区障がい者等基幹相談支援センター	24名
【第2回】 令和4年12月16日	詐欺に騙されないために ～日常生活は『契約』がいっぱい・・・ 消費者被害を防ぐためのアドバイス～ 講師 曾於市消費生活センター	35名
	曾於市の権利擁護支援について ～どんな人が使えるの？どんな事をするの？ 成年後見制度・福祉サービス利用支援事業～ 講師 曾於市社会福祉協議会権利擁護センター	
【第3回】 令和4年12月23日	はじめよう！終活 ～ エンディングノートの活用 ～ 講師 株式会社鎌倉新書 官民協働事業部 青木 香織 氏	78名
【第4回】 令和5年1月13日	地域で暮らす高齢者の権利擁護 ～高齢者の相談現場から認知症や高齢者虐待について～ 講師 曾於市地域包括支援センター	27名
	地域で支えるしくみについて 講師 曾於市社会福祉協議会地域福祉課	

(4) 死後事務に関する取り組みの検討

他市町村社協への取り組み調査・状況把握の実施

## V 曾於市地域包括支援センター関係

地域包括支援センターは、市の委託を受け 5 年が経過しました。地域包括ケアシステムの構築に向けた中核的な役割を担う機関として、社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員といった専門職がそれぞれの専門性を活かしながら相互に連携し、地域住民の保健・福祉・医療の向上、介護予防促進を総合的に進めることを目的に事業を実施しています。

令和 4 年度も新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を行いながら、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント、介護予防ケアマネジメントといった 4 つの柱となる業務を中心に、地域包括支援センターとしての機能や役割を十分に果たせるように業務に取り組みました。

総合相談支援業務では、介護や医療、認知症、見守りに関することなど様々な相談を受け付け、迅速に初期段階の相談対応や支援を行うとともに、各関係機関へのつなぎ機能を果たしました。今年度より疾病・障がい等当事者のネットワークづくりとして、脳血管疾患患者の会にも取り組みました。また、地域包括支援センターの役割を広く地域住民に知っていただくために普及啓発活動にも努めました。

権利擁護業務においては、高齢者虐待、DV、身元保障問題等の相談に対し、市の介護福祉課、福祉事務所、権利擁護センター、地域の民生委員等と連携を図り迅速に対応し、高齢者の生活環境を確保するとともに、養護者に対する支援の検討等も行ないました。また、高齢者虐待の予防及び早期発見、高齢者が自ら権利を守れるように普及啓発活動にも取り組みました。

包括的・継続的ケアマネジメント業務においては、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域の様々な資源を包括的に活用し、切れ目のない継続的な支援体制を構築できるように、地域ケア個別会議や研修会を開催。地域の介護支援専門員の資質の向上やバックアップ、介護、医療、福祉、保健等の多職種連携によるネットワークの構築に努め、複合的な課題を抱えたケースに対しても多面的な視点での支援が実施できました。

介護予防マネジメント業務においては、地域に出向いて介護予防に関する普及啓発活動を行なうとともに、体操教室等の立ち上げや評価事業に積極的に関わり、高齢者の活動の場、集いの場を設置し介護予防の促進を図ってまいりました。また、要支援及び事業対象者の認定を受けられた方が介護状態になることを予防するために、自立支援を目的としたケアマネジメントを行なうとともに、業務の一部を適切に居宅介護支援事業所へ委託することができました。

その他、認知症施策推進事業、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業等市とのパートナーシップを組み、お互いに協力しながら事業の推進に努めて参りました。

地域福祉相談センター事業においては、市の委託を受け、財部地域福祉相談センター、

大隅地域福祉相談センターを設置し高齢者実態把握事業を行なっています。地域の最も身近な総合相談窓口としての役割を担い、地域の高齢者の生活実態を把握しながら、地域住民や民生委員等の関係機関とのネットワークを活用し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう事業に取り組みました。

### 曾於市地域包括支援センター関係事業実績

#### 1 介護予防、介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務

##### (1) 介護予防推進のための普及・啓発活動

##### ア 健康講話・体操指導の実施

対象者	件数	延人数
ミニデイ	2回	40人
ふれあいいいきサロン	3回	38人
ほっとカフェ俺	1回	5人
高齢者学級	2回	26人
合計	8回	109人

##### イ 一般介護予防事業における体操教室の立ち上げ、評価の実施

地区	住民説明会	開所式	評価
末吉地区	5回	7か所	21か所
大隅地区	4回	6か所	11か所
財部地区	2回	1か所	17か所
合計	11回	14か所	49か所

##### ウ 情報紙の発行等

年2回（7月・1月）

##### (2) 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

##### 介護予防給付及び介護予防ケアマネジメント

実施年度 (3月末現在)	予防給付 (包括)	予防給付 (委託)	介護予防ケア マネジメント (包括)	介護予防ケア マネジメント (委託)	計
令和4年度	2,958件	442件	2,508件	218件	6,126件
令和3年度	2,946件	574件	2,448件	247件	6,215件
前年度対比	12件	-132件	60件	-29件	-89件

##### (3) 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務の指定居宅介護支援事業所への委託

## 2 総合相談支援業務

### (1) 相談件数

実施年度 (3月末現在)	介護保険	障がい	権利擁護	緊急通報システム	地域の課題	見守り	介護予防	経済的なこと	認知症	医療	合計
令和4年度	170	3	16	1	3	10	3	1	32	6	245
令和3年度	182	7	20	0	6	12	3	0	42	11	282
前年度対比	-12	-4	-4	1	-3	-2	0	1	-10	-5	-37

### (2) 地区別相談件数

実施年度 (3月末現在)	財部	末吉	大隅	その他
令和4年度	89件	112件	42件	2件
令和3年度	80件	147件	50件	2件
前年度対比	9件	-35件	-8件	0件

### (3) 地域におけるネットワークの構築

- ア 多職種連携の会等の実施…未実施
- イ 介護サービス事業所連絡会等の実施…未実施
- ウ 疾病・障がい等当事者のネットワークづくり

脳血管疾患患者の会「ひだまりカフェ」

偶数月の第3水曜日

開催月	当事者	企画委員・ボランティア
4月	4名	13名
6月	4名	10名
10月	7名	10名
12月	5名	10名
2月	5名	6名

### エ 小地域ネットワーク活動への積極的介入

ささえあいマップづくりへの参加：財部地区4回

### (2) 高齢者実態把握事業

#### ア 末吉地域高齢者実態把握事業

- ・特定高齢者候補者把握及び高齢者実態把握 **1,145件**

・基本チェックリスト実施 **7件**

・相談内容

実施年度 (3月末現在)	介護予防	介護保険	医療	福祉サービス	介護方法・介護機器等	消費者被害	高齢者虐待	申請・手続き代行	訪問給食	緊急通報	権利擁護	連絡調整	その他	合計
令和4年度	1191	1198	116	57	21	0	0	74	3	1	6	361	454	3482

### 3 権利擁護業務

#### (1) 相談経路

警察	介護支援専門員	本人	家族	医療機関	民生委員	介護施設等	市役所	権利擁護センター	社会福祉協議会	合計
9	1	0	0	0	0	2	2	1	1	16

#### (2) 主な相談内容について

高齢者虐待	11件
DV	4件
身元保証	0件
住まい確保	1件

#### (3) 高齢者虐待通報

新規通報件数	虐待内容（複数選択あり）				
	身体	心理	性的	経済	ネグレクト
11件	8件	0件	0件	3件	0件

ア 高齢者虐待に関する市民及び介護サービス従事者等への研修会の開催

イ 終活講座の開催：**9回**(サロン、ミニデイ、高齢者学級)

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### (1) 包括的・継続的なケア体制の構築

(2) 地域における介護支援専門員の資質向上、ネットワークの構築・活用

ア 地域ケア個別会議の開催(月1回)

開催回数	10回 20 ケース(Zoom で開催)
抽出された地域課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操教室やサロンまでの移動手段がない。</li> <li>・コロナ禍で活動や参加の場が減っている。</li> <li>・中学校の跡地をもっと有効に活用できないか。</li> <li>・世帯数が減少し高齢化率も高い地域は空き家も多くなって問題となっている。</li> <li>・認知症の方や認知症ではじめの方を地域でどのように支えて見守っていくか、若い世代を含めた住民の理解を深めていく必要がある。</li> <li>・自治会未加入者の見守り。</li> <li>・男性だけの世帯は介護の知識が不足していたり、周囲が関わりにくいいためケースが多い。</li> <li>・認定サポーターの活動の場を作り、サポーターのスキルアップを図る必要がある。</li> <li>・近くに買い物できる店がない。</li> <li>・身寄りのない方への支援体制が必要。</li> <li>・障がい者が安心して出歩ける環境整備が必要ではないか。</li> </ul>

イ 地域ケア個別会議専職連絡会の開催：3月16日開催

ウ 介護支援専門員及び介護サービス従事者等を対象とした研修会の実施(月1回程度)

月	内容	参加事業所
5月	曾於市住まいに関する制度について 令和4年度介護予防・日常生活支援総合事業について 地域ケア個別会議について 高齢者の保健事業と介護予防事業一体的事業について	<b>14 事業所</b>
6月	アルコール問題を抱える人との関りについて ～高齢者の飲酒問題について考えよう～	<b>44 事業所</b>
7月	曾於市における身寄りのない方への取り組み 大隅地域入退院支援ルールについて 曾於市生活相談支援センターの役割について	<b>17 事業所</b>
8月	専門職として対人援助を行う上での基本的な姿勢	<b>13 事業所</b>
9月	適切なケアマネジメント手法の手引き	<b>13 事業所</b>
10月	未来につなぐ相続登記	<b>18 事業所</b>
11月	曾於市における防災対策	<b>26 事業所</b>
12月	認知症の人と家族に今できること ～多職種連携の大切さ～	<b>市主催</b>
1月	ケアマネジャーと終活について エンディングノートの活用と中核機関の取り組みについて	<b>10 事業所</b>
3月	防ごう消費者トラブル	<b>15 事業所</b>

エ 介護支援専門員研修会企画会議(年1回)の開催

令和4年4月14日開催 企画委員10名参加 今年度の研修方法、研修内容を検討  
オ 鹿児島県介護支援専門員指導者研修への出席

カ 鹿児島県介護支援専門員更新研修(専門Ⅰ、専門Ⅱ、主任)への講師派遣  
専門研修Ⅱ:2日間、主任更新:8日間

キ 見守り訪問員連絡会への出席:市主催2か月1回開催

(3) 支援困難事例等への指導・助言

ア 個別相談・支援

イ ケース会議の開催

	末吉地域	大隅地域	財部地域
開催回数	7回	2回	3回
ケース内容	・金銭管理ができず身寄りのない方への支援 ・海外から移住され介護が必要になった方の支援 ・施設入所中だが家族の協力が得られない方への対応について ・精神疾患が疑われるが医療機関へつながっていない方への支援 ・県外から帰郷され住まいの確保や身の回りの支援が必要な方への支援 等		

## 5 高齢者福祉サービスに関する実態調査業務

必要に応じて高齢者の日常生活や介護状況等に関するアセスメントや実態調査に協力。

## 6 介護予防・日常生活支援総合事業に関する協力

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業対象者に対する基本チェックリストの実施

(2) 自立支援会議:月1回

	財部地域	大隅地域	末吉地域
対象ケース件数	6件	5件	34件

(3) 総合事業サービス事業所連絡会への出席

・通所事業所連絡会及び意見交換会…1回

・認定サポーター意見交換会…1回

## 7 在宅医療・介護連携推進事業に関する協力

(1) 曾於地区在宅医療介護連携推進連絡協議会(年2回)…zoom会議2回

(2) 曾於地区在宅医療介護連携推進作業部会(年4回)…zoom会議4回

(3) 大隅圏域入退院支援ルール実践交流会(年2回)…出会なし

## 8 生活支援体制整備事業に関する協力

(1) 第1層協議体及び地域包括ケア会議への参加

(2) 第2層協議体連絡会への参加…**全体会：3回**、各地区連絡会…**各3～4回**

## 9 認知症施策推進事業に関する協力

(1) 認知症初期集中支援及びチーム員会議(年6回程度)

支援件数	チーム員会議
なし	なし

(2) 認知症地域支援推進員の配置

ア 認知症サポーター養成講座の実施：**6回**（体操教室、警察署、民生委員等：延参加者**69名**）

イ 若年性認知症患者及び家族への支援体制の構築

ウ 行方不明者捜索訓練等の実施

エ 認知症サポートネットワークの構築

オ 認知症地域支援推進員研修への参加（初任者及び現任者研修）

## 10 財部・大隅地域福祉相談センター事業

(1) 高齢者実態把握事業（財部・大隅地区）

ア 財部地域高齢者実態把握事業

・特定高齢者候補者把握及び高齢者実態把握 **687件**

・基本チェックリスト実施 **127件**

・相談内容

(単位：件)

実施年度 (3月末現在)	介護予防	介護保険	医療	福祉サービス	介護方法・介護機器等	消費者被害	高齢者虐待	申請・手続き代行	訪問給食	緊急通報	権利擁護	連絡調整	その他	合計
令和4年度	968	511	863	275	17	0	0	38	19	6	0	34	406	3,137
令和3年度	823	496	890	347	4	0	0	10	14	35	2	2	949	3,572
前年度対比	145	15	-42	-72	13	0	0	28	5	-29	-2	32	-543	-435

イ 大隅地域高齢者実態把握事業

・特定高齢者候補者把握及び高齢者実態把握 **629 件**

・基本チェックリスト実施 **424 件**

・相談内容 (単位：件)

実施年度 (3月末現在)	介護予防	介護保険	医療	福祉サービス	介護方法・介護機器等	消費者被害	高齢者虐待	申請・手続き代行	訪問給食	緊急通報	権利擁護	連絡調整	その他	合計
令和4年度	500	104	802	305	22	0	0	15	47	11	26	278	550	2660
令和3年度	446	158	762	425	10	0	0	24	46	29	12	226	556	2694
前年度対比	54	-54	40	-120	12	0	0	-9	1	-3	14	52	-6	-34

## VI 曾於市生活相談支援センター関係

令和4年4月1日に曾於市から事業を受託し、7月にそお生きいき健康センターに事務所を移転しました。

新規の相談は106件。相談内容は収入・生活費のこと、仕事探し・就職について、家族関係についてなど、生活の基盤となる事項の相談が数多くありました。

また、子どもの進級、進学にかかる準備が経済的に整えられないなどの相談も多くありました。

月1回は支援調整会議も開催され、曾於市役所生活福祉係、そお地区障がい者等機関相談支援センターの職員も出会い、新規相談や支援プランを作成した方の支援方針、評価に関する情報共有を図っています。支援の方向性が適正なものか関係者で確認しながら、支援を必要とされる方に向き合い取り組みました。

火災などで住む場所を無くしてしまった方やホームレス、ネットカフェ宿泊を続けているなど不安定な住居形態にある方、親子関係や夫婦関係の問題で一時的に避難が必要なDVが考えられる方に対しては、宿泊場所を提供する一時生活支援事業も実施しました。

「社会との関わりに不安がある、他の人とのコミュニケーションがとれない」など、直ちに就労が困難な方に対しては2週間の就労体験を行う、就労準備支援事業も実施しました。

家計改善支援事業は受託して4年目となりましたが、生活相談支援センター内で本事業を実施することで、生活に困窮する方への包括的な支援を行う中で本事業が必要な方に推進されやすくなりました。また、本会が実施する福祉サービス利用支援事業の利用や小口福祉資金の貸付け事業などへつなぐことで、総合的な支援を行えるようにもなりました。曾於市地域包括支援センターをはじめ他の関係機関との連携から相談や契約につながっているケースも多くなっています。令和5年度からは、地域くらし・支え合い事業とも連携し、課題解決と生活再建に向けた支援に取り組み、より本事業の活用を推進していきます。

新型コロナウイルス感染症の影響で収入減となった方の相談も多くありました。生活困窮者自立支援金の申請時の受付、求職活動報告書に基づいた面談などを行い、相談者が自立した生活が送れるよう取り組みました。就職が決まり支援を終結した方もいますが、未だ生活状況が改善せず生活保護の申請相談をされた方もいらっしゃいます。今後も定期的な生活状況の確認を行っていきます。

「フードバンクそお」との連携により困窮している方への食糧支援も行いました。適切な支援となるよう、子どものいる生活困窮世帯などの把握は、曾於市役所こども未来課やスクールソーシャルワーカーなどの関係機関との連携を図り行いました。

## 曾於市生活相談支援センター関係事業実績

### 1 自立相談支援事業

#### (1) 運営体制

ア 相談窓口 そお生きいき健康センター（末吉町二之方 2342-3）内

イ 開所日 曾於市の休日を定める条例に規定された休日を除く日の午前 8 時 30 分から  
午後 5 時 15 分まで

ウ 人員配置 相談支援員として常勤職員 2 名と非常勤職員 2 名を配置

#### (2) 事業内容・実施状況

生活に困りごとや不安を抱えている方からの相談を受けて、支援員がどのような支援が必要か一緒に考え、具体的な支援計画を作成し寄り添いながら自立に向けた支援を行いました。

相談は一つの課題だけとは限らず、複雑な課題を抱えているケースもあります。相談者家族などにも複合的な課題があり、解決に時間を要することもありました。

#### (3) 従事者研修

ア 厚生労働省関係

生活困窮者自立支援制度人材養成研修自立相談支援事業従事者養成研修

【相談支援員養成研修】10月21日 2名受講

イ 鹿児島県関係

生活困窮者自立支援制度人材養成研修（県研修）2名受講

ウ 令和4年度生活困窮者自立支援制度初任者研修 2名受講

(4) 支援調整会議 11回開催（曾於市財部支所、そお生きいき健康センター）

#### (5) 事業説明の実施状況

依頼のあった研修等で事業説明を実施しました。

- ・財部地区－民生児童委員協議会
- ・末吉地区－南部校区社会福祉協議会ネットワーク会議
- ・財部地区－財部校区南俣社会福祉協議会ネットワーク会議

#### (6) 自立促進に関する相談・支援、支援計画作成等件数

- ・新規相談受付件数

	相談件数
令和4年度	<b>106</b>
令和3年度	***
前年度対比	***

- ・就労支援対象者数

	相談件数
--	------

令和4年度	8
令和3年度	***
前年度対比	***

・支援計画の作成

	計画作成件数
令和4年度	19
令和3年度	***
前年度対比	***

・一般就労開始件数

	一般就労者数
令和4年度	3
令和3年度	***
前年度対比	***

## 2 一時生活支援事業

### (1) 運営体制

ア 相談窓口 そお生きいき健康センター（末吉町二之方 2342-3）内に設置

イ 開所日 曾於市の休日を定める条例に規定された休日を除く日の午前8時30分から午後5時15分

ウ 人員配置 相談支援員4名が状況に応じて対応

### (2) 事業内容・実施状況

本事業は、宿泊場所や食事の提供、衣類等の日用品の支給又は貸与及び定期的な入浴等の日常生活上必要なサービスを提供し、定期的な利用者の健康診断等を行うものです。

受託前に一時生活支援事業の提携を行っていた宿泊施設に確認を行い、突発的な需要に即時的に対応して利用ができるよう、事業の実施体制の整備を行いました。

(3) 支援調整会議 11回（曾於市財部支所、そお生きいき健康センター）

### (4) 事業説明の実施状況

※1の「自立相談支援事業」と同内容

### (5) 利用件数・泊数、金額(宿泊料)

利用件数 2件

利用泊数 3泊（1名分）4泊（2名分）

金額(宿泊料) 49,520円

	利用件数
令和4年度	2

令和 3 年度	***
前年度対比	***

### 3 就労準備支援事業

#### (1) 運営体制

ア 相談窓口 そお生きいき健康センター（末吉町二之方 2342-3）内に設置

イ 開所日 曾於市の休日を定める条例に規定された休日を除く日の午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで

ウ 人員配置 職員 1 名を就労支援員として配置し、就労準備支援事業の担当としました。不在時は、生活相談支援センターの職員が対応できるようにしました。

#### (2) 事業内容・実施状況

生活リズムの崩れ、社会との関わりに対する不安などの理由から、就労に向けた準備が整っていない方に対して、本人の意向を伺いながら一般就労に向けた生活習慣の確立、社会参加能力の形成など、基礎的能力形成の支援を行いました。

#### (3) 従事者研修

ア 厚生労働省関係

生活困窮者自立支援制度 就労支援員・就労準備支援事業従事者養成研修

(4) 支援調整会議 11 回（曾於市財部支所、そお生きいき健康センター）

(5) 事業説明の実施状況

※ 1 の「自立相談支援事業」と同内容

#### (6) 利用件数

利用人数 2 名（うち延長利用 1 名）

延べ利用日数 31 日

	利用件数	協力事業所での 就労体験件数
令和 4 年度	2	3
令和 3 年度	***	***
前年度対比	***	***

### 4 家計改善支援事業

#### (1) 運営体制

ア 相談窓口 そお生きいき健康センター（末吉町二之方 2342-3）内に設置

イ 開所日 曾於市の休日を定める条例に規定された休日を除く日の午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで

ウ 人員配置 職員 1 名を家計相談支援員として配置しました。不在時は、生活相談支援センターの職員が対応するようにしました。

(2) 事業内容・実施状況

相談者に自身の課題が見えるように工夫し、自ら設定した目標に向けて家計を再生し、自身で継続的に管理できるような支援を行いました。

- ・家計管理に関する支援(家計表等の作成支援、出納管理等の支援)
- ・滞納(家賃、税金、公共料金等)の解消や各種給付制度の利用に向けた支援
- ・債務整理に関する支援(多重債務者相談窓口との連携等)
- ・貸付のあっせん等

(3) 従事者研修

厚生労働省関係

生活困窮者自立支援制度人材養成研修家計改善支援事業従事者養成研修 (9/1～9/2)

(4) 支援調整会議 11 回 (曾於市財部支所、そお生きいき健康センター)

(5) ケース会議 3 回

(6) 事業説明の実施状況

※1の「自立相談支援事業」と同内容

(7) 利用等件数

ア 問合せ及び相談支援

	財 部	末 吉	大 隅	合 計
問合せ	4	8	10	22
相談支援	7	34	35	76
合計	11	42	45	98

イ 契約

	財 部	末 吉	大 隅	合 計
締結	0	5	1	6
終結	1	3	0	4

ウ プラン作成

	財 部	末 吉	大 隅	合 計
新規プラン	0	5	1	6
再プラン	0	3	1	4

エ 契約者数

	財 部	末 吉	大 隅	合 計
令和4年3月末	1	3	3	7

## 5 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金申請関係

- ・総合支援資金特例貸付が終了した世帯等に求職活動、収入額など一定の要件を満たす場合に生活相談支援センターで支給申請を受け付けました。
- ・申請時の受付、求職活動報告時の面談、市役所所管課へのつなぎを行いました。

生活困窮者自立支援金受給者数	13名
(相談延べ回数)	49回

## 6 フードバンクそおと連携した食糧支援

- ・フードバンクそおと連携し、必要とする世帯に食糧支援を行い、生活状況の把握、改善への提案を通して、自立した生活へつなげました。

食糧支援人数	57名
(延べ回数)	150回

---

### 【参考】組織体制について（令和5年3月31日現在）

#### 1 役員等

理事	監事	評議員
8名	2名	14名

#### 2 職員 106名 | 正規職員：42名、臨時職員等：64名

事務局長	総務課長	地域福祉課長兼支所長	地域包括支援センター長兼支所長	主任	一般職	臨時職員・登録訪問介護員・非常勤介護支援専門員
1名	1名	1名	1名	10名	28名	64名